

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	福井県教育委員会 担当課：教育庁保健体育課 電話番号：0776-20-0594
------	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	268人	③ 部活動数	14部活（運動部活動）
--------	----	-------	------	--------	-------------

1.2 地域における現状・課題

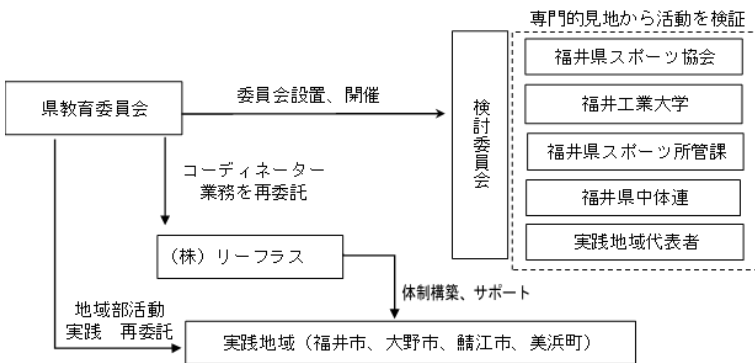
- ・少子化に伴う生徒の減少により、今後、一層、存続が難しい部活動が出る事が予想される。
- ・部活動の地域移行については、本県のように都市部ではない地域では、受け皿として示された民間スポーツクラブや大学が少なく指導者の確保が困難な地域も多い。
- ・本県では、スポーツ庁および文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」を策定したことを受け、部活動および地域クラブ活動の適切な運営を目的とした、「学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方に関する方針」を令和5年度4月施行（予定）し、体制整備を図る。

1.3 実践研究における取組目標

- ・令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むために、県内の拠点地域において実践研究を実施し、研究成果を普及することにより、休日の地域運動部活動の県内展開につなげる。

1.4 実践研究の運営体制

- ・モデル事業(実践研究)の運営体制と関係団体、役割は以下のとおり。



団体名	関わり方・役割
県	事業企画・管理、関係者説明、委員会運営、アンケート調査、報告書作成
(株)リーフラス	実践地域に対する助言、支援
実践地域	学校関係者説明、地域運動部活動の事業管理、アンケート調査
福井県スポーツ協会	スポーツの普及、ジュニア育成に関する評価
福井工業大学	スポーツ指導に関する評価

2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・地域運動部活動推進事業の実施に際し、事業の実施方針の決定、拠点校における実践の共有や検証等を行う検討委員会を設置した。

① 構成員

	委員所属	委員職名	委員名
有識者	(公財) 福井県スポーツ協会	専務理事	南部 則雄
	福井工業大学スポーツ健康科学部	教授	野口 雄慶
地域運動部活動関係	福井県スポーツ協会	事務局長	和多田 一
	福井市教育委員会保健給食課	課長	木下 武明
	大野市教育委員会教育総務課	学校教育審議監	千田 佐
	鯖江市教育委員会	教育審議官	木村 雄一
スポーツ団体	福井県中学校体育連盟	会長	小林 孝史
社会体育	福井県文化・スポーツ局スポーツ課	課長	田中 和弘
学校体育	福井県教育庁	副部長	萩原 雅広

事務局：福井県教育庁保健体育課（教職員課も事務局として会議に参加）

②開催時期、検討内容

第1回検討委員会（6月）

- ・地域運動部活動推進事業の事業方針
- ・地域移行支援コーディネーターの配置について
- ・今後の活動の進め方について（意見交換）

第2回検討委員会（11月）

- ・実践研究の進捗状況について
- ・令和5年度以降の地域移行について
- ・アンケート調査について

第3回検討委員会（2月）

- ・令和4年度地域運動部活動推進事業アンケート調査結果について
- ・令和5年度地域運動部活動の県の取組みについて
- ・各地域の実践事業報告について

3. 実践研究校における取組について

- ・実践研究校における取組みは、各市、団体の成果報告書に記載

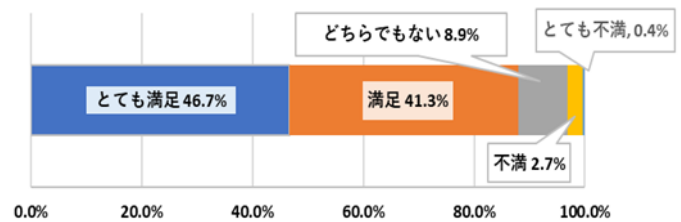
4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

アンケート調査結果概要

①生徒の指導内容に対する満足度調査

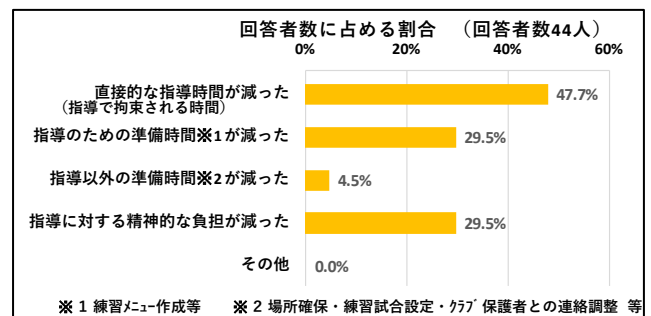
- ・88%の生徒が地域スポーツクラブでの指導に「とても満足」、「満足」と回答
- ・専門的な指導（技術指導や個々に応じた指導）が受けられること、練習内容が充実すること、自身の成長が実感できること、楽しく活動できている等を理由にあげる生徒が多かった。
- ・その他、他校の生徒との交流や、学校部活動引退後も参加できることを理由に挙げる生徒がいた。
- ・一方、学校部活動での活動時間が少なくなったことへの不満や、活動時間が少ない等の要望もあった。



②教員の業務負担に関する調査

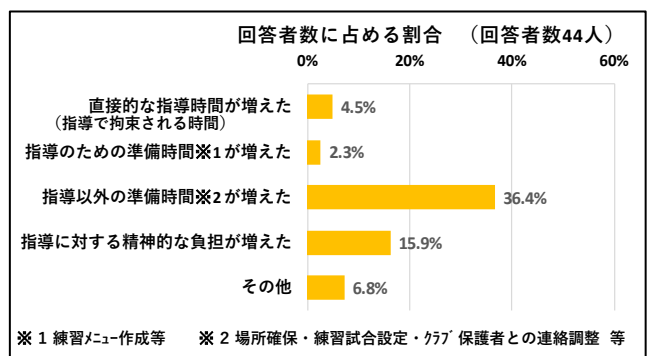
[負担の減ったこと]

- ・47.7%の顧問・副顧問が、「休日勤務の必要がなくなった」等、指導時間が減ったと回答。
- ・また、拘束時間の減少に加え、技術指導を地域指導者に任せることができたことで、精神的な負担軽減となっている等との意見が多くあった。



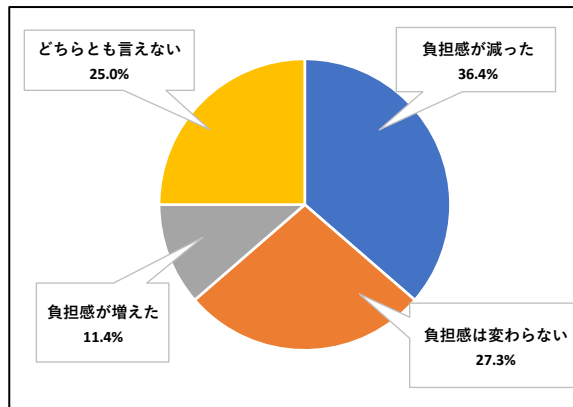
[負担が増えたこと]

- ・36.4%の顧問・副顧問が地域クラブとの日程調整、地域指導者と保護者の仲介等、指導以外の業務負担が増えた回答。
- ・精神的な負担が増えた要因に、地域指導者への気遣いや、学校部活動での生徒への対応（参加しない生徒へのフォロー）に苦慮する等の意見があった。



[総合的にみた負担の変化]

・「負担感は変わらない」「どちらとも言えない」の選択理由に、「学校部活動は生徒指導の側面があり、行き届いていた指導ができなくなる。」「休日の練習が減ったことで技術力の低下がみられる。」「チームとしての指導機会が減り、チームを育てるという時間面での不十分さを否めない。」等、自分が指導する時間が減ることによる不安を抱く声もあった。



4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

- ・実践研究では、休日の地域スポーツ活動の実施により、直接的な指導時間が減る等の負担軽減は見られたが、学校と地域指導者との連絡調整等、指導以外の新たな業務負担が生じることも明らかとなっている。
- ・関係者との連絡体制構築に向けた総括コーディネーターや学校と地域クラブの調整役を担うコーディネーターを各市町に配置できるよう、県が財政面の支援を行っていく。

【受け皿団体の確保方策】

- ・本県においては、中学校部活動の受け皿として活動できる団体が少なく、また、クラブ活動の運営を持続的に行えるマネジメント力が備わった団体も限られる。運営団体の整備充実に向けた運営団体への支援に取り組む必要がある。
- ・地域スポーツクラブを運営していく際に、まずは、クラブとしての活動のコンセプトを明確にした上で、参加者（保護者）が求めることとクラブができることのすり合わせや、学校（部活動）との役割分担を明確にすることが重要である。

【困窮世帯への支援方策】

- ・地域スポーツクラブへ参加する際に、新たに、会費や保険料等の負担が保護者に生じる。経済的困窮を理由にスポーツ活動の機会が損なわれないうよう、就学援助世帯等を対象とした参加費用への支援を行う必要がある。

【指導者の確保方策】

- ・県内では、どの市町においても、十分な指導者を確保できているわけではなく、競技団体や地域のスポーツクラブ等の協力、教員の兼職兼用等により指導者を確保する必要がある。
- ・実践研究では、地域の指導者が中学生に対して適切に指導を行うことができるのか、保護者から不安の声も挙がっている。
- ・令和5年度から本格的に各地域で地域移行に向けた実践が始まる中、指導者の中には中学生の指導が初めての者もいることが想定され、指導者向け研修会開催等、指導者の質確保に向けた取組みも必要である。
- ・指導者が変わり、多様な視点からの指導受けることは、長期的にみた競技力向上や人間性の育成に繋がる大事な要素である。このことを、教員・保護者等にも理解してもらうことが重要である。

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

美浜町	福井県ボート協会 担当課：福井県ボート協会事務局
-----	-----------------------------

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	205人	③ 部活動数	7部活(運動部活動)
--------	----	-------	------	--------	------------

1.2 地域における現状・課題

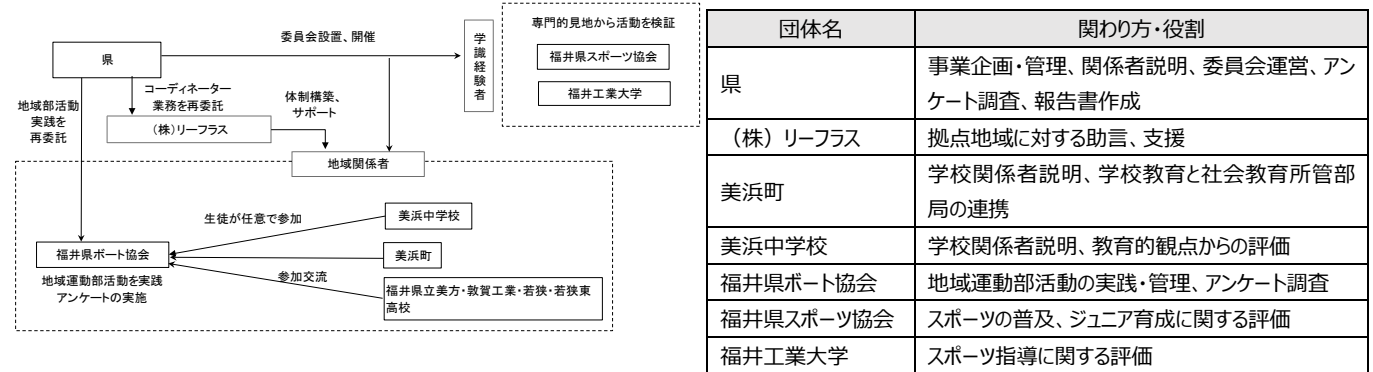
- ・ 美浜町は、三方五湖の5つの湖のうち、日向湖と久々子湖を有しており、ボート競技(漕艇)に関しては、昭和43年の1巡目国体以降、久々子湖での恵まれた競技環境の中で半世紀以上にわたって普及拡大、競技力向上に取り組んでいる。
- ・ 近年は、同競技の西日本拠点として、各カテゴリーの全日本代表合宿地として注目されている。
- ・ ボート競技では数十年前から小中高一貫指導体制を確立しており、国体では県内最強選手で構成する「福井選抜チーム」の選考が定着し、男女総合得点の獲得に大きく貢献している。
- ・ 今後、全国で働き方改革・部活動の改革が進む中、ボート競技は、特に少子化に伴う競技人口の減少や指導者の確保が課題となっている。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 「ボートの町美浜」として町を挙げて競技振興に取り組むボート競技について、中学生を中心としたクラブチームを立ち上げ、選手育成を図るとともに、拠点校における休日の地域運動部活動の実践をととして、持続可能な運動部活動のあり方を検討する。

1.4 実践研究の運営体制

- ・ モデル事業(実践研究)の運営体制と関係団体、役割は以下の通り。



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 美浜町、美浜中、福井県ボート協会、福井ジュニアローイングクラブの参加による「地域運動部活動検討会議」を開催（2回/年間）し、問題点や課題の抽出、また解決策の共有を行い、次年度の活動計画に反映した。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全1中学校のうち、1校(美浜中学校)が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	1部活
③ 種目	ボート

≪主な取組例≫…福井県立美浜中学校

① 運営主体	福井ジュニアローイングクラブ(福井県ボート協会創設)		
② 種目	ボート	④ 参加者数	23人
④ 活動日	土曜日・日曜日(月2回)	⑤ 活動場所	県立艇庫・久々子湖漕艇場
⑦ 指導者人数	5人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑨ 指導者属性	福井ジュニアローイングクラブに所属の指導者5名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり：1,000円/1回)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）»

生徒(参加選手)	・ 参加の理由は、「技術を高めたい」（40 %）、「楽しい」（25%）が多く、満足度は「とても満足」（70 %）と評価が高い。
保護者	・ 「十分満足」・「満足」が全体の 90 %以上を占めており、その理由は「指導者の技術指導力」が 56 %と最も高い。 ・ 活動費（月平均）は、3,000 円以下を希望される保護者が約 70 %を占めており、本格導入における負担額の増については、更なる理解活動が必要である。
指導者	・ 指導者の多くが、「指導者としての使命・やりがい」を感じており、地域貢献や子供の成長に喜びを感じている。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

(休日と平日の一貫指導（学校と運営団体、指導者の連携等）)

- ・ 拠点校指導者と受け入れ団体指導者との理念やスキルの共有、相互のレベルアップが必要。
- ・ 定期的な会議体の開催や、日常的意思疎通、情報共有を可能とする主要窓口の設置が必要。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ アンケート結果より、活動については一定の評価を得られている。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

定期的な会議体の開催や、日常的意思疎通、情報共有を可能とする主要窓口の設置が必要。

拠点校指導者と受け入れ団体指導者との理念やスキルの共有、相互のレベルアップが必要。

【受け皿団体の確保方策】

県と各市町が連携し、拠点競技の更なる定着を図るとともに、受け入れ団体の育成とマッチング支援等を展開し、地域で受け入れやすい環境づくりが必要。

地域移行後の活動を定着させるため、受け皿団体の運営への継続的な資金支援が必要。

【地域移行の自走化に向けた方策】

県保健体育課、県スポーツ協会の広報誌やホームページへの各競技、各市町の受け入れ団体の紹介とバナーの掲載、各小中学生への受け入れ団体の PR チラシの配布などによる、普及活動が必要

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	大野市教育委員会 担当課：教育総務課 電話番号：0779-64-4827
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	5校	② 生徒数	730人	③ 部活動数	27部活
--------	----	-------	------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

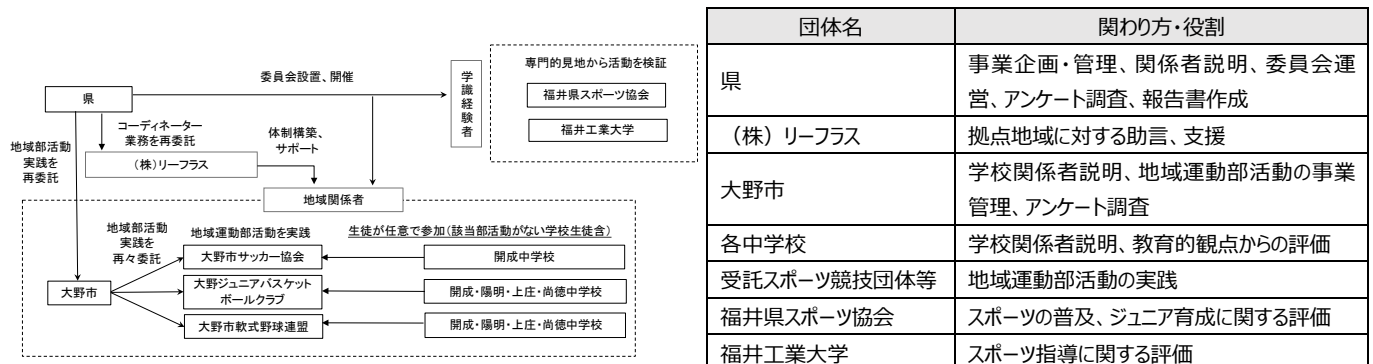
- ・ 少子化に伴う生徒の減少により、一層、存続が難しい部活動（特に団体競技）が出るのが予想される。
- ・ 地域スポーツ団体と学校・行政の連携や指導者の確保。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 複数校の生徒を対象として同一競技での合同活動を実施する。
- ・ 地域スポーツ団体と学校・行政での検討会議等の実施
- ・ 1部活動につき2～4名程度の登録指導者の確保

1.4 実践研究の運営体制

- ・ モデル事業(実践研究)の運営体制と関係団体、役割は以下の通り。



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 担当者会議を4回（途中から検討委員会2回を兼ねて開催）実施。
- ・ 会議の中では、中体連の大会への地域スポーツ団体での参加の可否や道具の保管場所、会場の優先確保が可能か等の課題が上げられた。中体連の参加は団体での参加が可能となり、道具の保管は学校とも確認し、優先確保については引き続き協議をしていく。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全5中学校のうち、4校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	11部活
③ 種目	サッカー、バスケットボール、軟式野球

《主な取組例（1）》…大野市立開成中学校（サッカー部はないが陽明中、上庄中、尚徳中からも参加あり）

① 運営主体	大野市サッカー協会		
② 種目	サッカー	③ 参加者数	約20人（内女子1人）
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	真名川憩いの島(グラウンド)
⑥ 指導者人数	9人		
⑦ 指導者属性	大野市サッカー協会に所属の指導者9名を指導者として派遣（競技歴20～46年、指導歴3～35年、資格あり）		

《主な取組例（2）》…大野市立 開成中学校、陽明中学校、上庄中学校、尚徳中学校

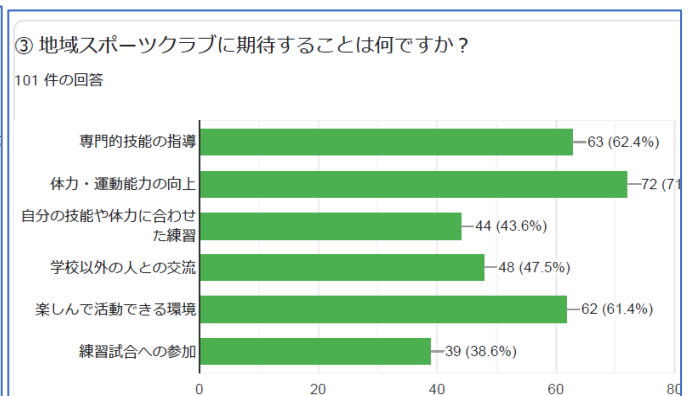
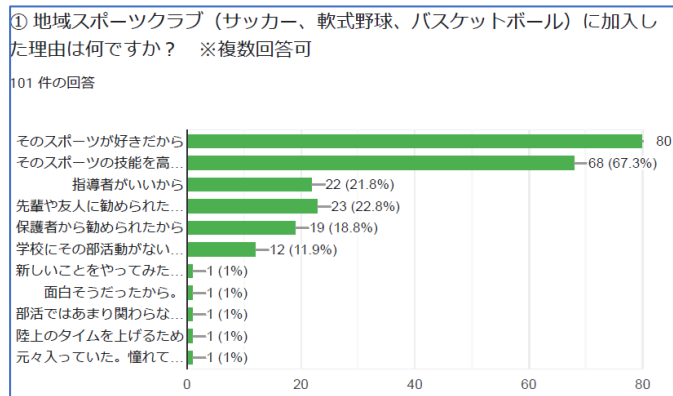
① 運営主体	大野ジュニアバスケットボールクラブ		
② 種目	バスケットボール	③ 参加者数	約30人（内女子10人）
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	開成中学校体育館
⑥ 指導者人数	8人		
⑦ 指導者属性	大野市ジュニアバスケットボールクラブに所属の指導者8名を指導者として派遣 (競技歴0～24年、指導歴0～20年、資格あり)		

《主な取組例（3）》…大野市立 開成中学校、陽明中学校、上庄中学校、尚徳中学校

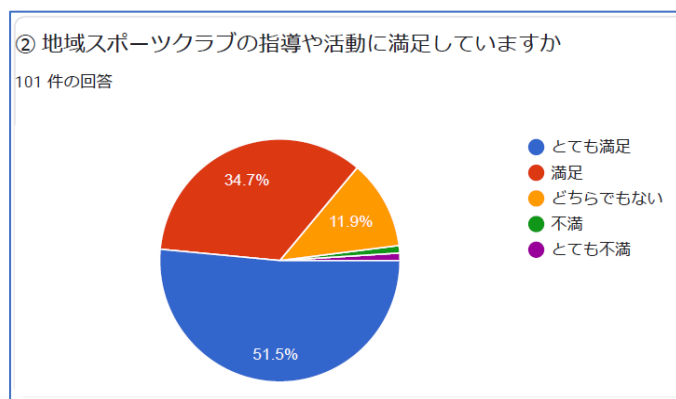
① 運営主体	大野市軟式野球連盟		
② 種目	軟式野球	③ 参加者数	約20人（内女子0人）人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	開成中学校グラウンド
⑥ 指導者人数	2人		
⑦ 指導者属性	大野市軟式野球連盟に所属の指導者2名を指導者として派遣 (競技歴40年、指導歴30年、資格あり)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

生徒・地域スポーツ団体に加入した理由では、「技能を高めたい」や「指導者がいい」などの意見が上位であり、技術力への上昇志向が見られた。また、専門的技能の指導への期待度も高い回答となった。



・8割強が地域スポーツ団体での指導への満足度が高い回答であった。

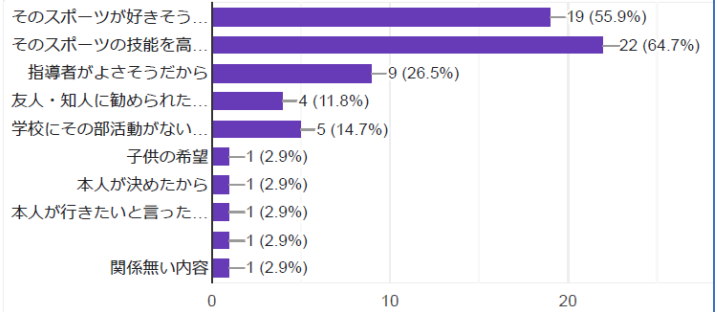
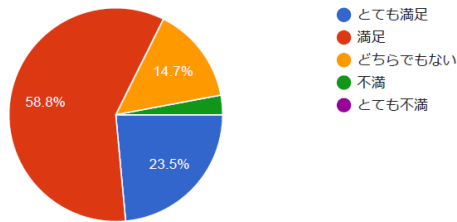


保護者

・地域スポーツ団体に加入させた理由は、生徒と一緒に「技能を高めたい」や「指導者がいい」などの意見が上位であり、親子ともども技術力の上昇を求めていることがわかった。また地域スポーツ団体の指導への満足度も高かった。

② 地域スポーツクラブの指導や活動に満足していますか？

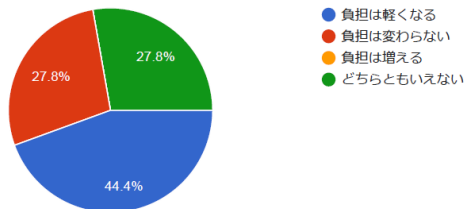
34 件の回答



顧問・地域移行による顧問、副顧問の負担の変化については、4割強は負担が軽くなると考えている。また、地域スポーツ団体に指導者として参加したいかどうかは、5割以上がしたくないと思っている。

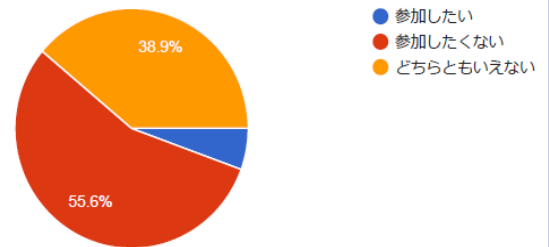
① 地域移行により3競技の部活動（サッカー、軟式野球、バスケットボール）では、来年度からの顧問・副顧問の負担はどうかと考えますか。（1月20日付の保護者への通知も参考にご回答ください）

18 件の回答



② 地域スポーツクラブで指導者として参加したいですか。

18 件の回答



3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点（指導者の確保）

- 令和4年度より「大野市スポーツ指導者資格取得補助金制度」を創設し資格取得を推進

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- 3競技団体の受け皿としての基盤が強化された。次年度より本格的な休日の地域移行を推進する。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

- 生徒や保護者、学校の理解獲得や、道具の保管場所、学校再編による学校備品の有効活用が課題となっている。

【指導者の確保方策】

各競技団体と検討し、指導者の資格取得を支援。
教職員の兼職兼業を検討。

【地域移行の自走化に向けた方策】

地域スポーツ団体への支援を要望。
ケースごとのアドバイスを行うアドバイザーの派遣への支援を要望。

【地域特有の課題への対応策】

保護者の負担増(会場までの送迎、会費)に対し、実践研究の成果を踏まえて検討。
道具の保管場所を学校と協議して検討。
優先的な練習会場の確保を検討。

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

学校再編後の部活動の形態を踏まえつつ、学校や地域スポーツ団体をつなぎスムーズな活動が行えるよう調整が必要。
生徒や保護者の理解が深まるよう説明会を実施する。
その他の地域スポーツ団体との交渉を行い、休日の地域移行を模索する。

部活動及び地域スポーツクラブに関するアンケート

52 件の回答

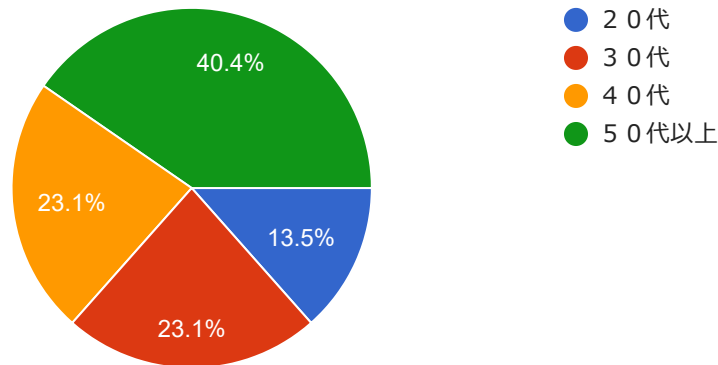
[分析を公開](#)

I 全員が回答してください

①回答者の年齢をお答えください

 コピー

52 件の回答

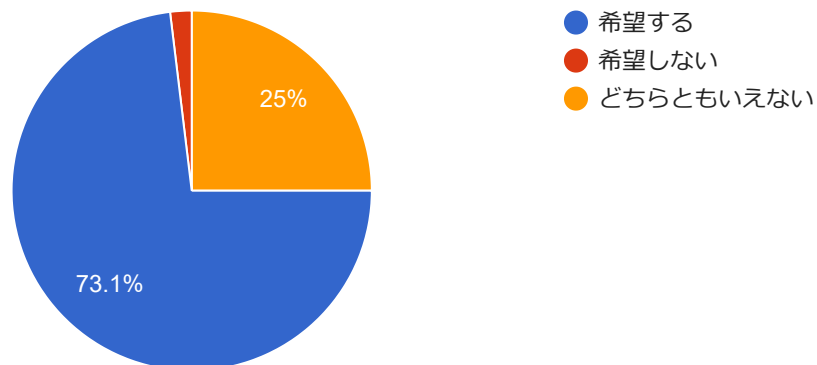


部活動の地域移行についてお聞きします

②現在、大野市では3競技の地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）で休日における部活動の地域移行を進めていますが、その他の競技でも地域移行を望みますか。

52 件の回答



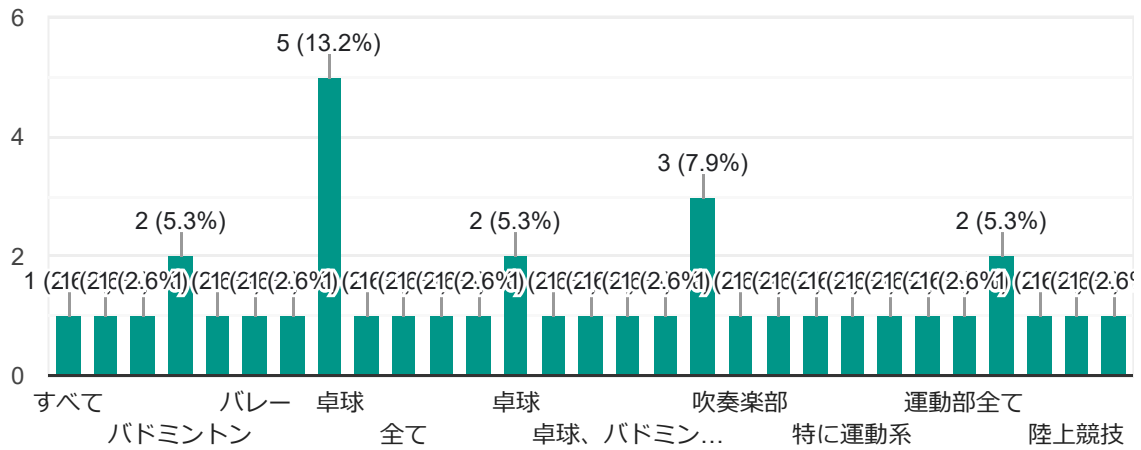
地域移行を希望すると答えた方



希望する部活動名をお書きください



38 件の回答

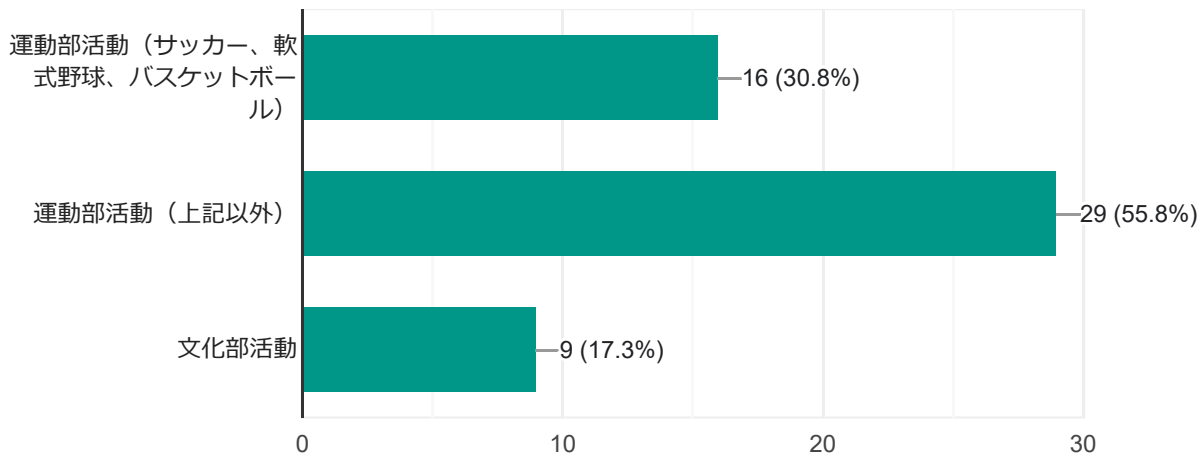


顧問されている部活動をお聞きます。

③担当している部活動をお答えください ※複数回答可



52 件の回答

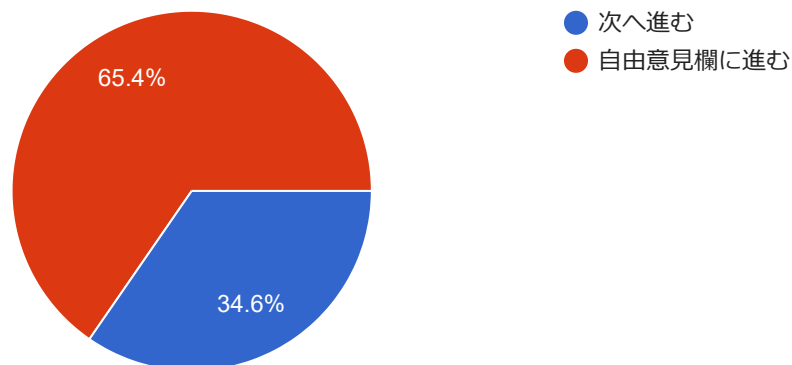


③の質問で運動部活動（サッカー、軟式野球、バスケットボール）を選択した方は「次へ進む」を押してください。

選択していない方は、「自由意見欄に進む」を押してください。



52 件の回答

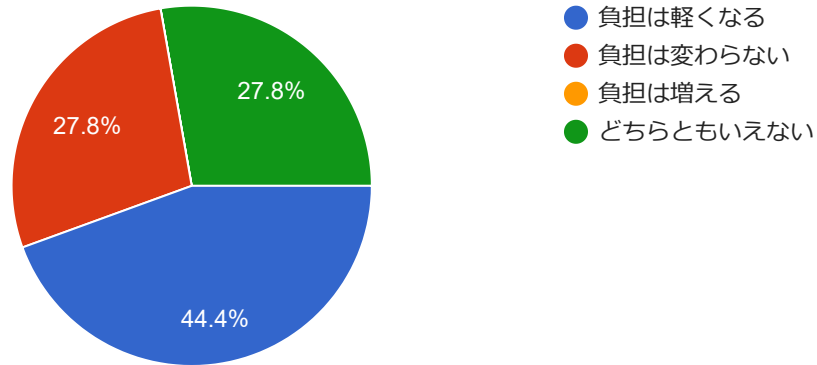


Ⅱ サッカー、軟式野球、バスケットボールを顧問されている方にお聞きします

①地域移行により3競技の部活動（サッカー、軟式野球、バスケットボール）では、来年度からの顧問・副顧問の負担はどうかと考えますか。（1月20日付の保護者への通知も参考にご回答ください）



18件の回答



その理由は何ですか？

18 件の回答

勝利至上主義の部活動ではなくなり、保護者の過剰な期待などがなくなるため。

担当時間が減るから

週末の指導時間がなくなる一方で、週末活動しているクラブとの連携も大変になると思う。

中体連がある以上、週末に学校単位で活動せざるを得ないと思われる。

休日の部活動が軽減される。専門的な指導に悩むことがなくなる。

教員の働き改革には良いことだと思うが、
クラブでの人間関係のトラブル等が発生した時に
対処しきれるか不安である

どこまで外部に任せるのか不透明だから。

あまり変化を感じられない。

学校での土、日の部活動が減るため

指導する時間が減ると思われるから

休日の指導時間が少なくなるため

時間の拘束が減るから。

地域移行が思ったほど進んでいないため

平日の指導が減らなければ、その分の時間が取られ、負担は変わらないと考えるため。

クラブに所属していない選手がいるから

練習試合の段取りでの地区外の学校とのパイプ役、大会等の運営等で負担が増える面が出てくると考えられるため

部活動自体がなくなれば負担は軽くなるが、学校に部活動があるうちは負担が変わらない。移行期は先が見えず何とも言えない。

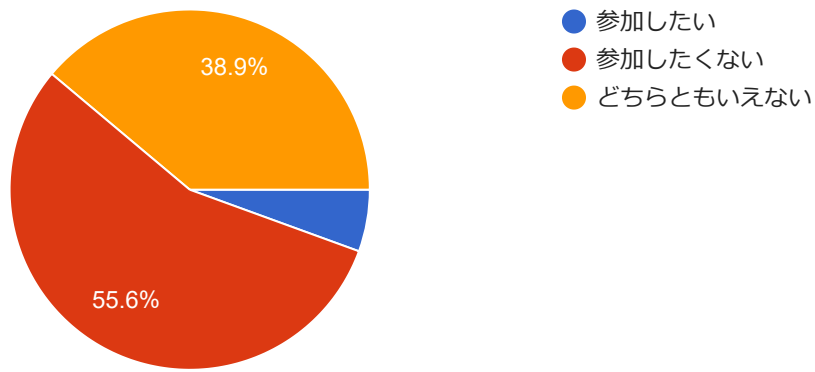
平日と休日合わせて1ヶ月に30時間程度部活にかかっており、それが無くなると単純に時間外労働時間の短縮に繋がるから



② 地域スポーツクラブで指導者として参加したいですか。

コピー

18 件の回答



その理由は何ですか？

18 件の回答

私生活が忙しいため。

必要とされる場があれば考える

自分の専門種目において地域スポーツと関わりたいと考えている。

協力できることはできる限りしたい。しかし、主導でなくなるのであれば、これまで家庭を犠牲にしてきた分の償いを少しでもしたいと思う。

どの学校にいても、得意な競技を指導できるなら参加したい。

部活とクラブだと他校の生徒にも教えることとなる
そこでトラブルが発生しないか不安である

体が動かず、若い人にして欲しいから。

経験がないので、指導は難しい。

専門ではないから

家族の時間を大切にしたい

競技の専門でないため

そのスポーツを通して子供たちの育成に貢献するため。

現行の働き方ではライフワークバランスが悪過ぎるため、土日ぐらいは家庭に時間を割きたい

専門性を持ち合わせていないため。

子供がまだ小さいので家族の時間を尊重したい。ただ手が離れたら地域のために何かできることがあれば貢献したい。

様々な処遇がはっきりしないのでなんとも言えない。

家庭生活を優先したい

他の部活動と外部の地域クラブの両方をもつ可能性があるから

部活動地域移行に関する自由意見欄



そのほか部活動地域移行に関して、気になる点や不安な点などの意見がありましたら、自由にお書きください。

27 件の回答

運動部活動だけでなく、文化部活動についても地域移行を積極的に進めてほしい。

生徒指導や各種大会参加について、トラブルが生じないか？

地域移行が簡単には進まないことが予想されるが、そのことによって、子どもたちの選択肢が減ってしまうこと。

- ・自分の経験した競技なら指導してもよいと思いますが、一度指導者登録すると練習参加が強制となるなら、少し考えるところがあります。
- ・学校の負担が地域に移るだけにはならないでほしいと思います。新しい形態で継続できるようなものとなると嬉しいですね。
- ・子供の居住地によって様々な制限がかかってしまうのではないのでしょうか。何とか解決できるというなあと思うのですが、やはり難しいのでしょうか？

能力があっても、遠方に住んでいる生徒は参加が難しくなる。
全てのスポーツの顧問が見つかるのかどうか。でもそれも仕方ないことです。
必要とあれば、福井市などへ出かけていくしかないと思います。
教員の兼業を容易に認めてくれるようにしてあげてほしい。
部活動の地域移行に関して、指導に対する報酬のことも考えていくべきだと思います。
すべてがボランティアというわけにはいかないと思います。
どんなスポーツも専門的な技量を問われる時代だと考えるので、方向性はこれで良いと思います。
何も知らない人に教えてもらうことほど、苦痛なことはない。

①地域にないスポーツクラブ等への所属はどうすればいいのか。

②平日の活動はどうなるのか。

競技者数の減少。スポーツ人口の減少。生徒の放課後の時間の過ごし方。

学校の行事、例えばテスト前の休みなど、しっかりと考慮してもらえるのかどうか。

本人が希望していないのに、地域にクラブがないという理由で強制的に指導者にならなければならない、ということがないようにお願いします。

始まると問題点が見えてくるのだろうか 今のところはよくわからない。

部活動によって安定していた生徒指導が不安定になり学校現場がより多忙にならないか心配する。思春期の子ども達に増える自由時間がうまく使えるかは家庭教育にかかっている。部活動が教育現場の多忙化の主因のように見せているが、教育の家庭、学校の住み分けを明確にする政治の働きかけが大切だと思っている。

中体連大会などの運営は誰がしていくのか？地域移行していく中で、休日の練習試合なども、地域移行したクラブが中心となって行うことになると考えます。中体連の大会等はどのような形で出場するのか？学校の部活動顧問と地域スポーツの指導者とどちらが大会等で監督をする



のか？主に地域スポーツの指導者が中心となれば、中体連大会を学校の部活動顧問で運営するのか？どのように運営してくのかが、気になります。

地域移行した際の指導者への報酬 ボランティアでは持続しない

地域移行するさい、手を挙げてくださる一般の方にお金を支払うべきだと思う。タダ働きの時代ではない。

平日と休日の指導の統一がとれるか不安である。

全ての部で移行できるよう 各部で話し合いが必要だと思う

学校の教育活動の延長としての地域移行を希望します。

指導者の確保。指導者への待遇のあり方。部活動が地域移行した場合の、生活面の生徒指導上への対応。

生徒（子どもたち）が、今後、自分たちで時間の使い方、生活スタイルを選択していくことの良さが生かせたらよいが。。。

地域移行の受け皿となる地域の指導者が全ての部活動で確保できていないのに、教育委員会が、土日の活動の制限を公表しているが、見通しは立っているのか。教育委員会は、どのように大野に中学生の文化スポーツ活動を保障するつもりか、教えてほしい。

どの部活にも、クラブにも入らず、放課後に生徒が自由になる時間が増える。学校から帰った後起こった事故、トラブルなら警察に対応してもらうなど体制が整わないといけないと思う。せっかく学校が手放しても、対処するのが学校なら、面倒ごとが増えるだけだと思う。

生徒の希望の部活動の参加ができるのかが気になる

平日の部活動も可能な限り地域移行してほしい

地域の受け皿が少ない状況で部活動が任意参加になることで、目的もなく部活動に入らない生徒が増える可能性がある。そのような生徒の中には、ゲーム漬けになったり、目的もなく徘徊したりする生徒も出てくるのではないかとと思われる。生徒指導面での問題が多発しそうで不安である。

学校が校外に委ねられるようになった時、生徒の居場所、登校の動機がなくならないように考える必要がある。

地域に任せていくのであれば中体連の大会もする必要がなくなりクラブの大会だけでよいのではないか。クラブに任せているのにも関わらず大会だけは残るといえるのはどうか。

他地区との連絡、学校行事のすり合わせ等は誰が行うのか。形だけなんとなく出来そうだからという程度で進めても後々大変なのではないか。

送信ボタンを押してください。
ありがとうございました。

アンケートは以上です。ま



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



部活動及び地域スポーツクラブに関するアンケート

619 件の回答

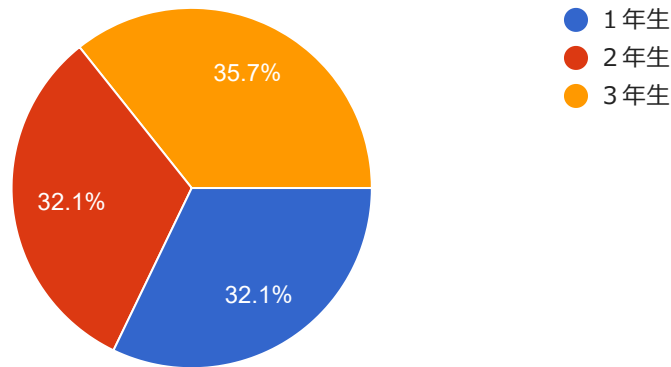
[分析を公開](#)

I 全員が回答してください

①回答者の学年をお答えください

 コピー

619 件の回答

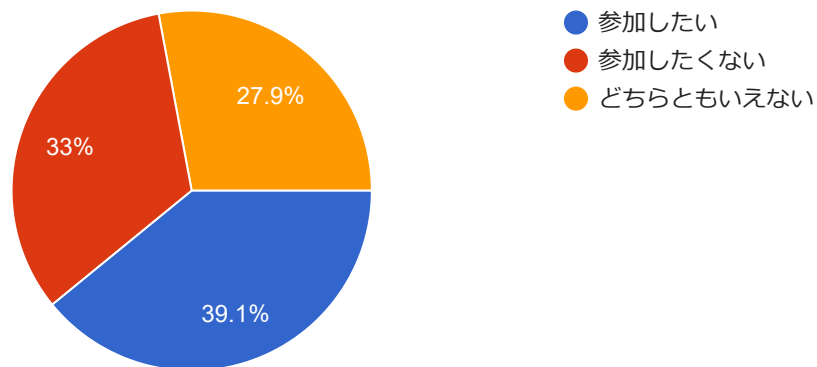


部活動の地域移行についてお聞きします

②学校での部活動が休日に実施しなくなった場合、所属している部活動と同じ競技や文化活動を行う「地域スポーツクラブ」に、休日参加したいですか？

 コピー
 プrint


619 件の回答



その理由は何ですか？

619 件の回答

楽しいから

上手になりたいから

運動したいから

休日は休みたいから

体を動かしたいから

自分の時間が欲しいから

練習したいから

めんどくさい

なんとなく

勉強したいから

わからない

わからないから

めんどい

部活が楽しいから

めんどくさいから

家に居たいから

自分の時間がほしいから

練習をしたいから

上手くなるため

どっちでもいい

疲れるから



もっと強くなりたいから。

たのしいから

うまくなりたいから

休日はゆっくりしたいから

休みたいから

つかれる

どっちでもいいから

したいから

好きだから

ない

自分の時間が欲しいから。

大変だから

もう参加してるから

分からないから

興味がないから

どちらともいえないから

上手になりたい

部活がない時はゆっくり休みたいから

好きだけど不安もある

宿題や勉強をしたいから

休日は自分の時間が欲しいから。

練習メニューやメンバーが変わって活動しにくくなったから。

バレーが好きだから



他のクラブに入っているから

自分の時間が欲しい

家族の時間を増やしたいから

休日はゆっくり休みたい

知らない人と活動するのは嫌だから、家族との時間がなくなるから

あんまり分からないし、いつもとは違うメンバーなのが少し心配だから

そこまでしてまでしたくない

勉強することに時間を使いたいから。

好きなスポーツをするとスッキリするから

休みは欲しいけど、体も動かしたいから。

暇だから

その時にならないとわからないから。

平日に部活に専念して休日に適度な休息をしたいから

するスポーツによる

会場がどこかによる。

休みの日くらいゆっくりしたい

嫌だから

力を伸ばしたいから

運動が嫌いだから

部活動だけでは練習が足りないから

その競技にもっと親しみたい

目標に達成するために練習時間を増やさないといけないから

参加しなければ参加する、参加しなくてもよいなら参加したくないから



たくさん体を動かしたいから

平日の部活動は時間が少なく、それ以外の時にも技術を高めたいから。

運動することが好きでからだを動かしたいから

上手になりたいと思うから

面倒くさいから。自主練の方が好きだから。

いろんな人とスポーツができるそこから色々なことが学べる

技術を向上させたい

休日は勉強したい

場所が変わるから

休日の部活動は成長するのに重要だと思うから。

わざわざスポーツクラブに参加してまではしたくないから

練習を休むとせっかく覚えた事が体にしみつかないと思うから

運動が苦手だから

受験生だから

してる競技が好きだから

違うことで忙しいから

3年生で部活も終わったし高校で中学と同じ部活に入る予定ではないから

学校での部活動としてする意義があるから

家が忙しいから

自分の趣味があるから

休日は体を休めたいから

普通に

技術をより向上させたいため



- スポーツはそこまで好きでないから
- その時によって変わるから
- 自分のためになるから
- バスケットをすることが生きがいだから
- どちらでもいいから
- 下手になってしまうから
- 疲れてしまう
- 体を動かすことで自分のためになるから
- 体を動かしそのスポーツの能力を上げていきたいから。
- したい人はすればいいと思う

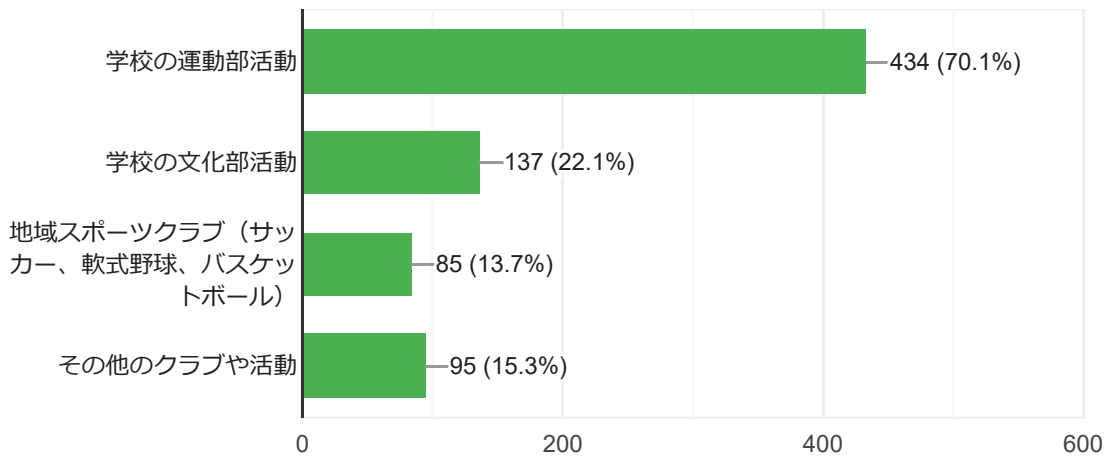
他 440 件の回答が非表示になっています

所属している活動についてお聞きします

③所属している活動をお答えください ※複数回答可



619 件の回答



「その他のクラブや活動」を選択した方は、クラブや活動名をお書きください

150 件の回答

大野ボーイズ

ピクルス

大野クラブ

みんスポクラブ

卓球部

AXIS

硬式野球

陸上部

バドミントン

バスケットボール部

みんスポ

バドミントン部

柔道

新田塚スイミングスクール

ダンス

女子ソフトテニス部

みんすぽ

大野クラブJr.

福井ダイヤモンドガールズ

空手

陸上



ミンスポ

男子バレーボール部

Kクラブ

水泳

バスケ部

自然部

女子バスケットボール部

バレー

中学硬式野球

みんスクラブ

だんす？

新田塚スイミングスクール大野校

大野市柔道スポーツ少年団

大野クラブジュニア（卓球）

みんスポクラブ バレーボール

福井ホースパーク少年団

大野クラブジュニア

大野卓球ジュニア

バスケットボール部

もうすぐでフェンテに入る

A-1アスリートクラブ 陸上

スイミング

少林寺拳法



勝山ジュニア

サッカー

studio sole (スタジオソール)

得意な物があるから

柔道部

スキー部

t104

大野クラブjr

大野ジュニア

大野ボーイズ

茶道

軟式野球部

ボウリング

みんスポ バレー

福井永平寺リトルシニア

卓球(大野クラブジュニア)

剣道

みんスポのバレーボール

男子卓球部

バレーボール

色んな人としたかったから

空手道

坂井フェニックス丸岡ジュニアユース



T104

T104

坂井フェニックス丸岡JY

陸上、駅伝、クラシックバレエ

大野クラブJr

女子卓球部

柔道クラブ

フェンテ大野

大野ジュニアクラブ 福井ダイヤモンドガールズ

軟式野球部 大野クラブ

大野ジュニアバドミントン

新田塚SSおおの

サニーズソフトボールクラブ

新田塚SS大野

福井中央リトルシニア

バスケ

野球

バスケットボール

忘れました

生花教室

テニス

ダンスチーム

フェンテ



ヤマハ ピアノ

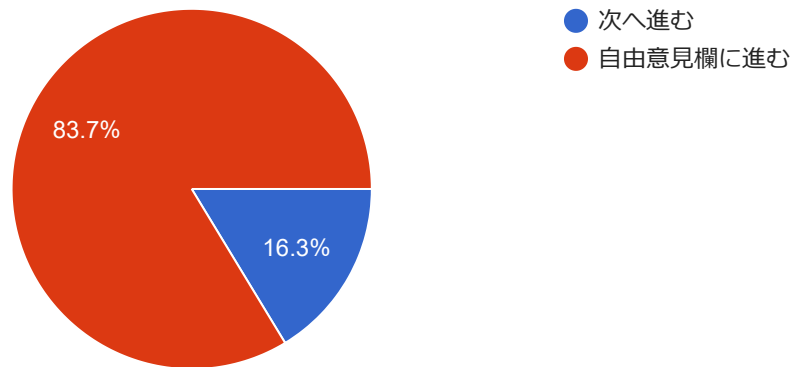
校外部

チアダンス

③の質問で地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）を選択した方は「次へ進む」を押してください。
選択していない方は、「自由意見欄に進む」を押してください。



619 件の回答

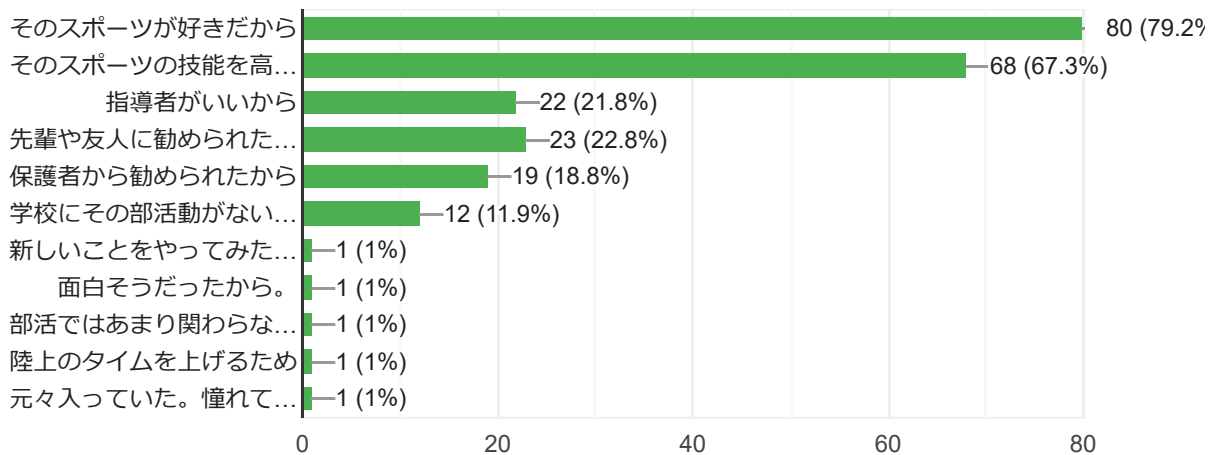


Ⅱ 地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）に加入している方にお聞きします

① 地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）に加入した理由は何ですか？ ※複数回答可



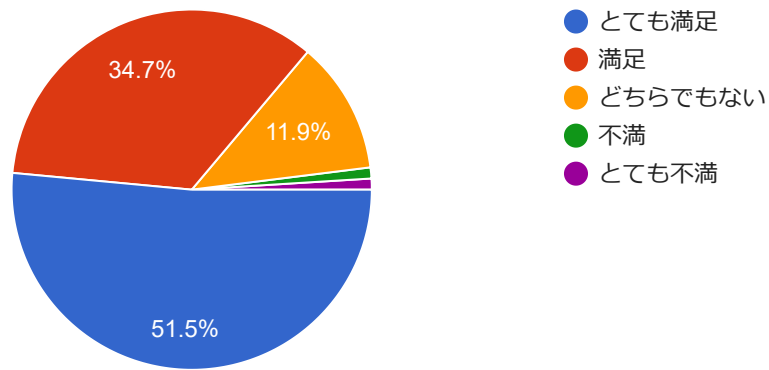
101 件の回答



② 地域スポーツクラブの指導や活動に満足していますか

コピー

101 件の回答



その理由は何ですか？

101 件の回答

楽しいから

楽しい

普通だから

上達するから

できないことをできるようにできるから

他チームの人と練習ができる

技術をより向上させることができたため

雰囲気も良くコーチも優しいから

能力を向上させることができるから。

バスケが上手くなるから

成長できてると思う

スキルを増やすことができたり、高めることができるから

きついけど楽しいから

おもしろい

教え方がわかりやすい

自分の好きなスポーツをしているから

みんなが一生懸命練習に取り組んでいて、とてもやりがいがあるから。

どうでもいいから

ない

他の学校の友達と同じチームでスポーツができるから。

上達していることがわかるから



いろいろな人と高めあえる

楽しいし、上達できるから

練習量や、教え方がうまい

部活動に比べて質の高い練習を行えるから

ちゃんとしたサッカーできるから

練習がたのしい

協力してできている

だんだんと上手になっていけたから

楽しかったから

特にない

練習できるから

たくさん教えてくれるから

指導がいいから

すごく技術が身につくし楽しい。

わからない

みんなとスポーツをするのが楽しいから

みんなと楽しく野球ができたから

技術向上に繋がるから

卒業していても教えてくれるから

みんなでスポーツができるから

なんか

みんなが仲良く切磋琢磨できるメンバーがいるから。

コーチの機嫌が悪い時がある



教えてもらえるから

面白くない暴力を振られる

理不尽に怒ってくるから。

部活でやってるメンバーと他の学校のメンバーと野球ができるから

楽しくない時もあるから

嫌なこともあるから

細かいところまで厳しく指導してくれ部活動では教えられないことを教えてもらえるから

高いレベルで出来たから

楽しくできたから

もう1つ上のレベルのことを教えてくださるから

そんな事考えたことがないから

プロの経験のあるコーチに指導してもらえるから自分のレベルが上がる

指導が良い指導者もいるが、指導が不十分な指導者がいる為。

高校に向けていろいろなことを学べるから

サッカーをしたい人達が集まっているから

上手くなるいい機会だから

自分の好きなスポーツをたくさんできるから

自分の技能を高めることができたと思うから

上手い人に教えてもらっているから

上手くなれる

入ってないから

満足

日曜日に部活がなかったが参加することで充実した休日を過ごせたから



自分が好きなことが出来ているし、いい友達にも恵まれたから

そのスポーツが好きだから

とても良い環境でやらせてもらえているから

指導が雑だから

教え方が上手で分かりやすいから

体力の上がるようなことができているから

コーチがいいから

そのスポーツが楽しいから

指導者が苦手

y

上手くなれるから

楽しくバスケットできるから

わかりやすく教えてくれるから

細かく指導してくれるから

もっと強くなりたい

一回一回発表会をする事に上手くなったねと褒められてまた頑張ろうとなるから。

厳しく教えてくれるから。

チーム全員を大切にできる指導者とチームメイトだから。指導者もチームメイトもサッカーが大好きなところが好きだから。仲がいいから。

しっかり教えてくれるから

他の学校の人達と話したりできるから

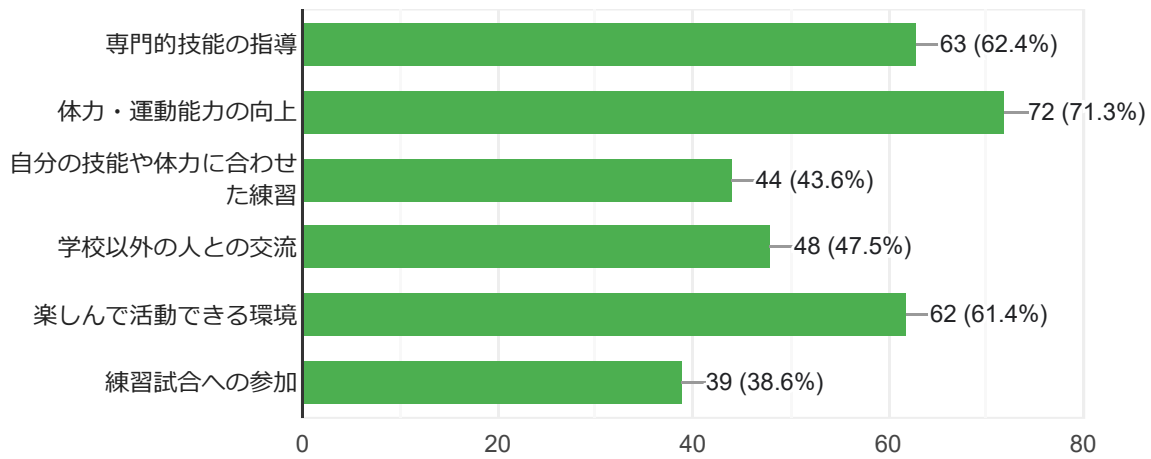
指導者が良いから



③ 地域スポーツクラブに期待することは何ですか？



101 件の回答



部活動地域移行に関する自由意見欄



そのほか部活動地域移行に関して、気になる点や不安な点などの意見がありましたら、自由にお書きください。

166 件の回答

ない

特になし

なし

特にない

無し

特に無し

とくにない

特にありません。

ありません

ないです。

無いです。

ないです

特に無い

特にありません

知らない人とやるのが嫌なこと、人間関係

部活動で、休みが少なすぎる時があり困っている。最低、1週間に1~2回くらいの休みがあると助かる。

土日の練習があった場合、和泉の子は自分で行くのか、バスか何か出るのか？

吹奏楽の顧問は誰がするのか

部活があったうえで意欲がある人だけがその地域のクラブに行くようにした方が練習の機会を増やせるし、クラブには意欲の高い人が集まるとおもう

吹奏楽部などは発表の場が減ったりしないのか。



任意なら部活に行く子と行かない子で体力の差などいろいろ出てくると思うんですがね。体力がつく時期にそういう面はどうするんですか。

移行しないことを願います

部活を続けたいです

大会などはどうなるのか。

意見は、ありません

無い

コミュニケーションが取りにくくなる

地域の方との日程をどうやって合わせるのか

だれが、指導するか、部活時間など

ちゃんとした指導者とか、クラブをする場所とかってあるんですか

特に有りません

地域の人が部活を指導したら先生の負担が減っていいと思うけど、地域の人の中にそんなに経験のある人は少ないと思う。

できないところはどうするのか

とくに無し。

ズル休みしないようにする

文化部はどうなるんですか

とくになし

6時までやらなければいけないのか、 暗くなる前に帰れないのか

特にないです。

分からない

部活を任意にして必要な身体能力や、個性を伸ばせるのか

部活をする場所学校が使えるのであれば体育館を使えるがそれ以外だとなないように思える



部活動地域移動とは

あまり人数が多すぎるとそこで揉め事等が起こると対処が大変になる

大会がどうなるのか不安

人が多くなるので方針を変えてほしくない。

学校の先生じゃないから少し不安

部活してほしい

スポーツクラブの種類が少なく希望の部活動に入れるかどうか

休日学校のメンバーとできるのが寂しい

学校に設備してあるものは勿体無くなってしまわないか。吹奏楽部の場合、楽器を地域の活動の際に移動することが困難。特に大きい楽器。

そのクラブチームに馴染めるか心配。

今までやってきたことと違う何かをするのは楽しそうでも環境が変わって困る人も出てくると思う

テストが近づいてきて勉強する時間が少なくなること

2つの掛け持ちでどっちも試合や大会に出場できないこと
【どっちかのクラブの試合にしか出れないこと】

地域ごとにやらずに学校ごとにやればいい
(良) 他校との交流は深まる
(悪) 喧嘩になりそう 友達出来なさそう

人材確保をどうするのが気のなる。

土日になくったら、吹奏楽部は結構大変になりそう

特になし。

休日に指導する人が集まるのかが気になる

一体感がなくなる

土日に練習が少なくなるのは困る

人数不足



部活って学校単体でやるのかなー？と思いました。
他の学校と合同でやるのなら、人数が増えて楽しそうだと思います。

部活をする場所が、いつもと違う場所や市内から離れた場所で部活をしないか
希望制だと、行かないとダメな雰囲気だから、移行しても同じだと思う。

コーチが変わるのかがどうかが不安

そこになじめるからしんばい

参加しない時は電話でどんなふうに言えばいいのか(休む理由は言った方がいいのか)

学校の部活がなくなるかが不安

運動する時間が少なくなる

今の部活は楽しい

地域移行されたときに、もう少し種類を増やしてほしい。上級生のせいでやりにくくなること
がないようにしてほしい。

新しいやり方は、部活じゃないと思う。それなら部活をなくした方がいいと思う。今の方がい
い。

差別に合いそう

特にないです

部活は休日もやった方がいいと思う。なぜ、任意制にしたのか

多分ついていけなくなると思うので、学校でやる方が安心感がある。

基本ない

部活変更をできるようにしてほしい。

本気でその部活がしたい人が全力で取り組める環境があるといいと思う。

生徒の指導をするのに適した人が地域にいなかった場合はどうするつもりなのかかわからな
い。

できれば、土日のどちらかを休みにしてほしい。

文化部も地域移行になりますか。

練習に対する意力が部活動の子と交わることでどうなるかが心配



部活動でバスケがしたいが一年生が入ってくるか

- ・今陽明中学校にある楽器は地域移行した後も使うか
- ・吹奏楽部が地域移行した場合楽器は他の中学校の物も使うようになるか

土曜日も日曜日もあるから、勉強などができないことがある。

学校の部活に2人だけとかになった時スケジュール通りに進まなそう。

金

大会

地域で大会に出るか学校で大会に出るか分からない。

任意かどうか

土曜日も部活動をして過ごしたいです

生徒が帰る時間などはどうなるのか気になります。

地域の人と一緒にスポーツをしたくない。仲良くなれる気がしない。

何処で行うのですか。時間帯は？

私の学校には、筋ジストロフィーの同級生がいます。しかし、本校には運動部しかなく、文化系の部活を作ってくれたらうれしいなと私も彼も思っています。

大会等の送り迎えは、誰が行うのか。

めんどくさい

他 1 件の回答が非表示になっています

送信ボタンを押してください。
ありがとうございました。

アンケートは以上です。あ

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム





部活動及び地域スポーツクラブに関するアンケート

287 件の回答

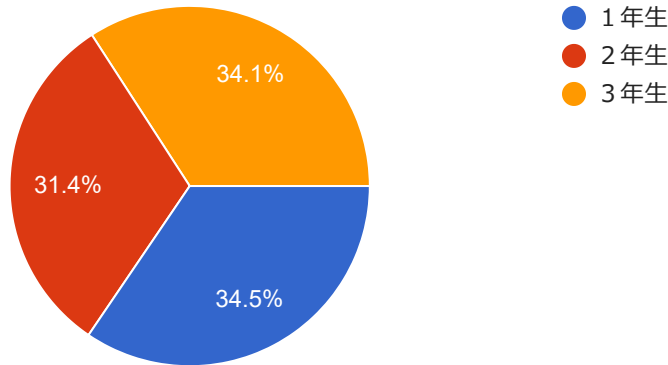
[分析を公開](#)

I 全員がお答えください

①お子様の学年をお答えください

 コピー

287 件の回答

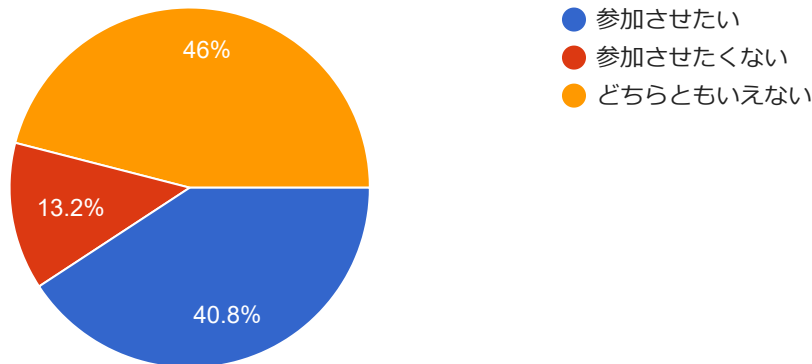


部活動の地域移行についてお聞きします

②学校での部活動が休日に実施しなくなった場合、お子様が所属している部活動と同じ競技や文化活動を行う「地域スポーツクラブ」に、休日参加させたいですか？

287 件の回答



その理由は何ですか？

287 件の回答

本人次第

本人に任せる

特になし

休日は休ませたいから

送迎が出来ないから

本人の意志に任せたいです

体力向上、他校との差が開く可能性大

技術の向上

本人の意思を主張したい

本人が決める事

したいスポーツがない

本人に任せます

休日に仕事がある

子供本人の希望に任せるから。

現在も休日に部活動を行っていないから

子供の希望を尊重するため

本人の意思を尊重したいから。

体力面

家にいると、ダラダラ過ごすため。感染症拡大している時は、参加させたくないです。

本人の意思でさせたい



本人が望まないから

練習になるから

本人の意見を尊重したい。

必要性を感じない

すでにスポーツクラブに所属していて、休日は活動している。もし、部活動に所属するという選択をしていたら、それは休日は別の活動をしたいという考えもあったかもしれない。また、休日→休日にも活動は、子どもの気持ちはついていくのか？と思うから

送迎等の手間が増えるから

保護者負担がふえそうだから。

費用や、送迎など親の負担と友達と有意義な活動をして欲しい気持ちと、子供の気持ちをあわせて判断したいから

学年が対象外になるので答えにくい

今、所属している部活が好きで入った訳ではないから

高校に繋がりたいから。

休日にダラダラしないよう生活にメリハリをつけるため

具体的なことが決まっていない

本人の気持ちによるので。

年齢とともに学業も忙しくなるから

本人の希望

美術部だから

送迎等の手間が増える

休日はプライベートの時間を充実してほしい。

スポーツに関わってほしいから

体力維持

送り迎えが大変なので、出来るだけ学校でやって欲しい。



休日の時間を使いたくない。

本人と周りがやりたがると思うので

活動の詳細が分からないから。

行きたいと言えば行かせると思う

本人の意思

部活が休日無いなら当然である。

休日はしっかり身体を休めてほしい

そんなに熱心にする必要がないと思うが子供がしたいならばしても良い

練習時間を確保してあげたい

送迎が困難だから

休日は家族を優先したいから

現在も参加している

家の都合にもよる 積極的な参加はしないと思うから。

同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら活動することで得られるものがあると思うから。

地域スポーツクラブのことをよく知らないから

地域スポーツクラブをよく知らないから

本人の意思を尊重

環境が違うため、本人がどう考えるのかが推測出来ない

上達させたいから

上手くなってほしいから

子どものやる気次第

子供とお出かけして思い出作りたいから

休みには身体を休ませてあげたいから



休日のまとまった時間練習することも技術向上やチームワークに必要と考えるから。

土日のどちらかが休みならよい。他の予定も入れたい。

子供に決めさせます

土日の休みがあっても、ゲームや動画などに時間を費やすだけだから

どんなスポーツクラブがあるのか、活動に関する詳細など情報を持っていないため

家にいても何もしないくらいなら、部活をしてもらいたい

休日の練習量の差が、他校とのレベルの差につながると感じるため

エネルギーの発散場所が必要だと思う。

本人が希望するならば行かせる

家にいるより部活をしていた方がよい

子どもが希望しない場合は参加しなくても良いと思っています

指導者が変わることで、指導のやり方、考え方も変わってくると思うので。子供達にはのびのびと楽しく部活を楽しんで欲しい思いがある

部活動では競技能力向上をはかれないから

子供の自主性による

学校の部活で十分だと思います

活動の内容によると思うので。

上達したい

活動日時が空く事で、実力の差に開きが出るから。

時間を持て余すかもしれないし、あるいは家族との時間が減るかもしれないから。

家にずっといるより、体を動かしたりしている方がよい

子供がしたいから

実力を向上させるため

吹奏楽だと個々で楽器を持たないといけないとなると難しいから



今地域のクラブに行っている子供達は小学生の頃からやっている上手な子達だけだと思います。うちの子は中学生から始めたのでたぶん差がありすぎると思うので。中学生から始めた子達でも馴染める様な環境だったらいいのですが。

レベルアップ、休日土日の二日あるから。

技術レベルの向上の為

陸上MARTですでに参加しています

休日にも、運動をしてほしい為

子供が参加したいと言えさせたい

休日参加が自主参加だと本人次第になるから

技術を向上させる為

本人の意思を尊重したいです。

技術面や捉え方など、お互いのいい刺激になるから。

一つのことに専念してほしい為

他 167 件の回答が非表示になっています



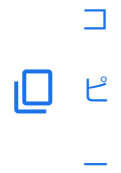
③地域スポーツクラブに参加させるうえでの課題は何だと考えますか。

※複数回答可

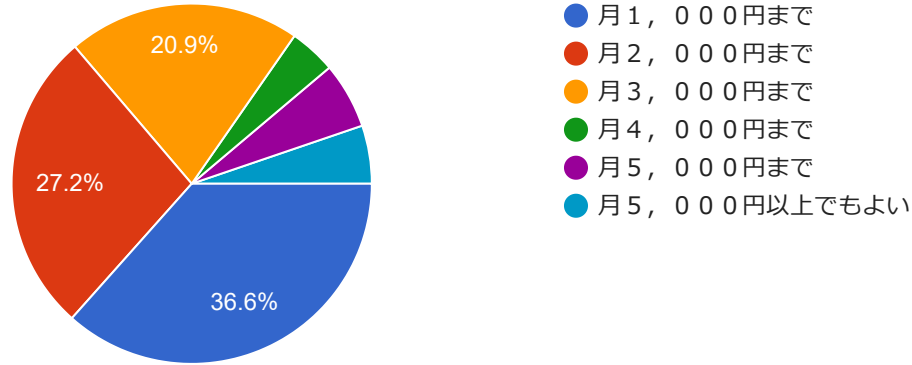
287 件の回答



④地域スポーツクラブに参加させる場合の参加費の負担額はいくらぐらいが適当と考えますか。



287 件の回答

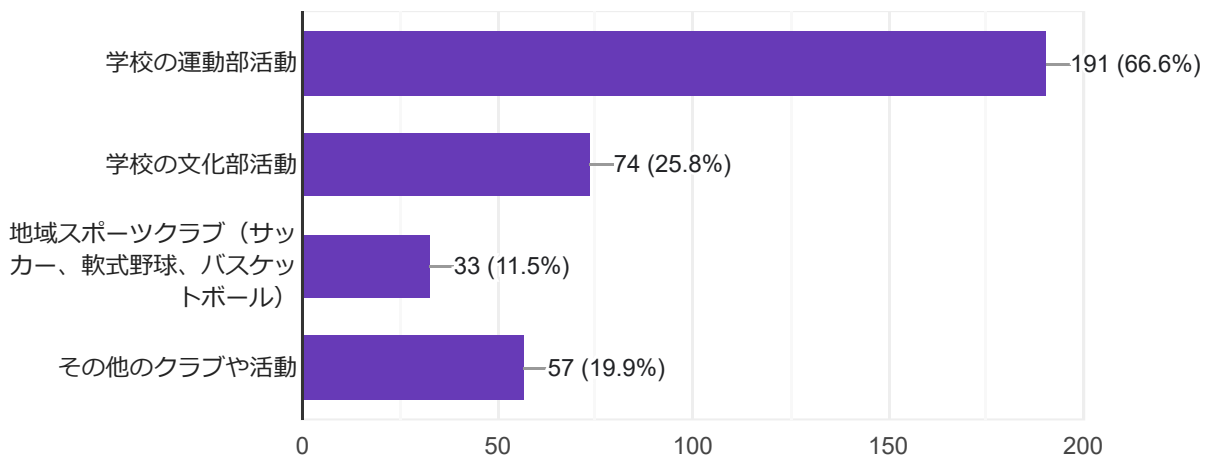


お子様が所属している活動についてお聞きます

⑤お子様が所属している活動をお答えください ※複数回答可



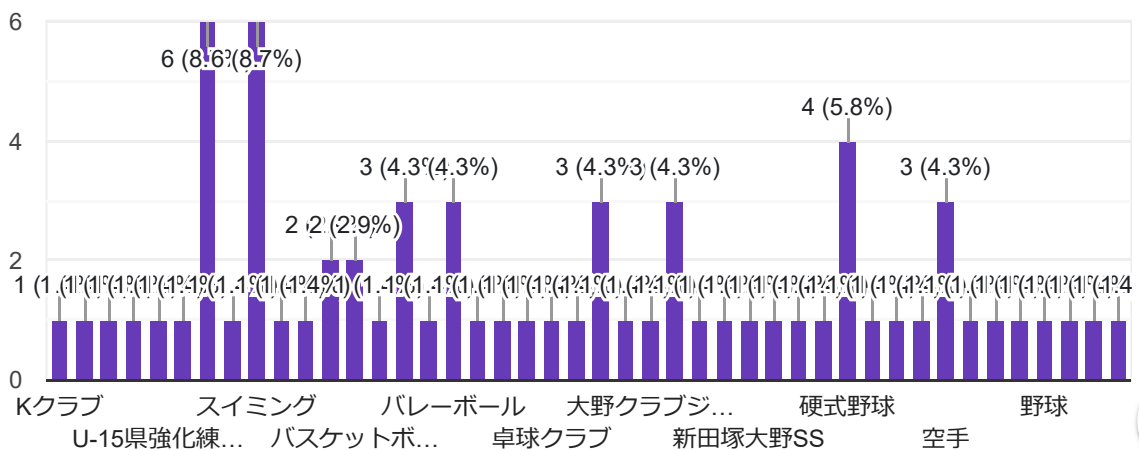
287 件の回答



「その他のクラブや活動」を選択した方は、クラブや活動名をお書きください



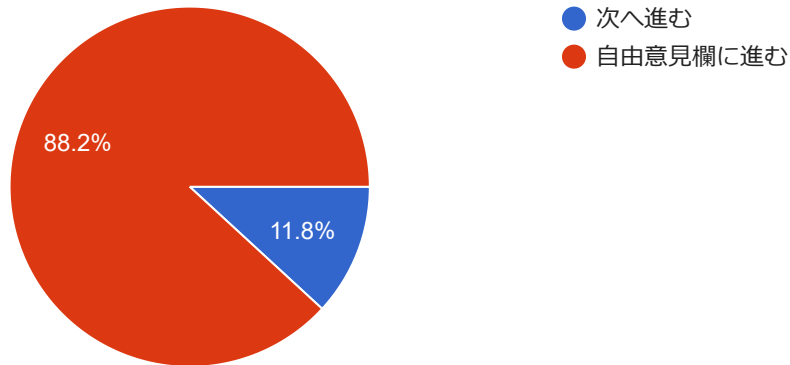
69 件の回答



⑤の質問で地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）を選択した方は「次へ進む」を押してください。
 選択していない方は、「自由意見欄に進む」を押してください。



287 件の回答

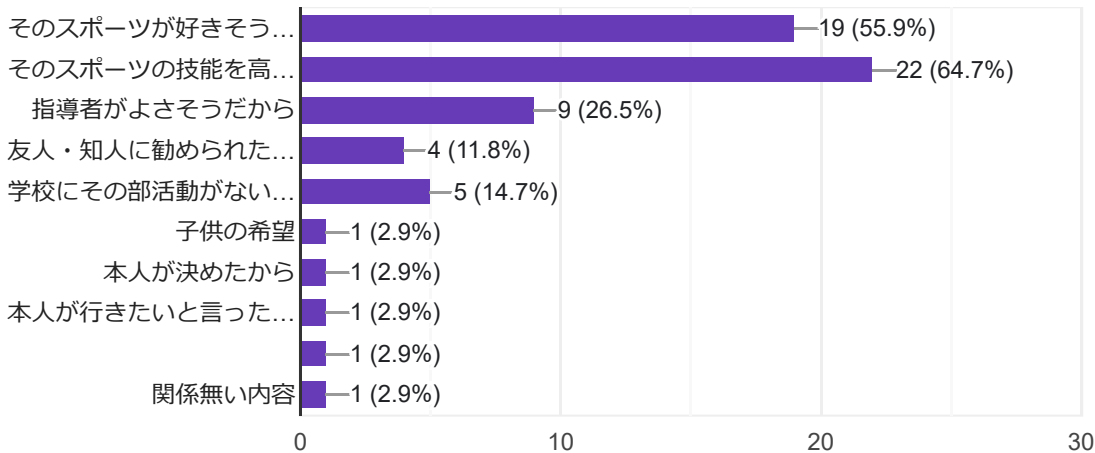


Ⅱ 地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）にお子様 が加入している保護者にお聞きします

① 地域スポーツクラブ（サッカー、軟式野球、バスケットボール）に加入させた理由は何ですか？ ※複数回答可



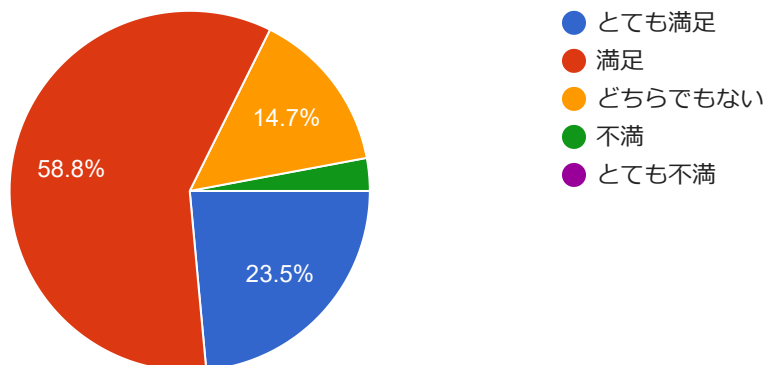
34 件の回答



② 地域スポーツクラブの指導や活動に満足していますか？



34 件の回答



その理由は何ですか？

34 件の回答

夜遅くなるのは少し困る

楽しそうに練習に励んでいる

指導者が多く、知識も豊富な為、高度で細かな指導をしてもらえる為。

とくになし

平日の練習や休日の試合など、活動が充実していた。

部活動では練習相手がいないなか競技能力維持向上に努めることができたから

部活では顧問の先生だけでは教えてもらえる、指導してもらえる量が少なすぎる

部活とは違う練習メニューで練習試合も多く技術向上できている気がする

他の学校の生徒達とも一緒に活動する事でお互いに高めあう事が出来たから。

スポーツ面以外でも人としての礼儀やルールも一緒に学べるため

答えられない

日曜日だけでなく、活動して欲しい

適度の練習量だから

本人が楽しそうにしているから

生徒が増えてチーム内で試合が出来るから

部活と比較して指導者が多く、指導が丁寧なこと

部活とは違うやり方で取り組める。他学校の生徒との交流ができる。

熱心に指導いただいております。ありがとうございます。

選択肢が少ない

上手くなってきているから

指導者の先生の指導の仕方



指導者の数が多い

指導者

指導者がとても熱心で全国大会に出場する事が出来た為

友達がたくさんいるから

専門的知識を持った指導者が熱心に指導してくるから。

とても楽しく参加している

いい成績を収めたから

子供が楽しくサッカーを楽しめているから

部活の顧問が頼りないので

娘の為になったのか分からないから

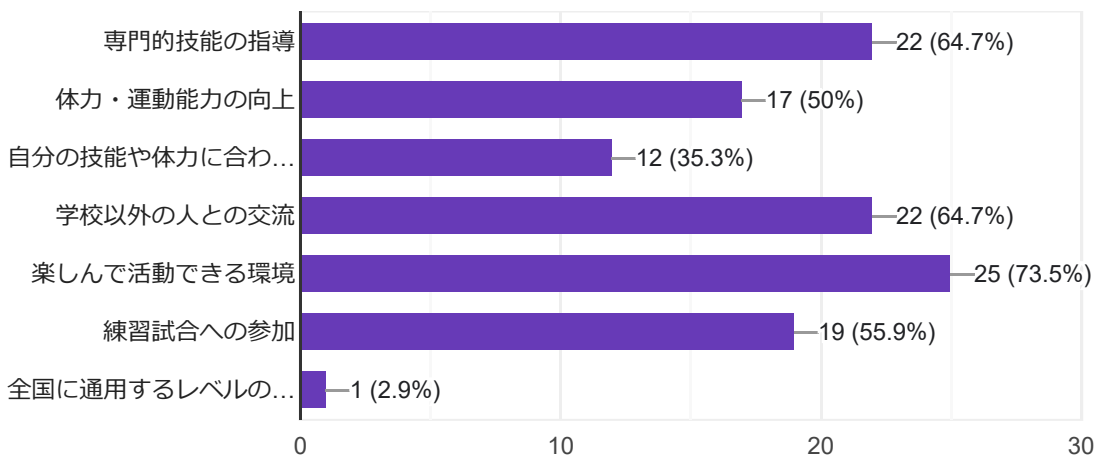
その競技ができる環境だから

子どもが楽しんで活動出来ている

③ 地域スポーツクラブに期待することは何ですか？



34 件の回答



部活動地域移行に関する自由意見欄



そのほか部活動地域移行に関して、気になる点や不安な点などの意見がありましたら、自由にお書きください。

94 件の回答

特になし

活動時間

特にありません

特に無し

先生方への負担が多いのは理解出来るが、部活を通して得られる経験や仲間などは、これから先の人生や人間形成において、とても必要と感じる。失われる物も多いように思う。

息子はサッカー部2年ですが、地域チームに加入していませんので、追加質問はお答えしませんでした。林

すでにスポーツクラブに所属しているので個人的には問題はありません。今の子供達に比べると親世代の私たちは必須で入部した部活ではありましたが、とても恵まれていたと感じます。小学校時代はスポーツと無縁だったけれどスポーツをする機会をもらえたり、授業では学べないことや仲間作りができたり...学校の活動の中で得られるというのは素晴らしいと思います。どちらがよい、というわけではないですが、私は部活での経験がその後の人生に大きく(良い方向に)影響したと思っています。今の子どもたちにもどうか、いい環境が準備してあげられますように、と思います。

親の負担（練習付き添い当番、練習場への送迎、試合会場などへのチームメイトを乗せるなどの乗り合い、費用）、部活では教師の指導の元行われるが、地域へ移行することでふさわしい指導者を選んでもらえるのか？人間性や安全管理がしっかりできるのか？正しい指導者への報酬が払われるのか？指導者の仕事場への理解（部活動優先の勤務の理解）が得られるのか？

（これが保証されないと親の負担が増える）

部活を学校がしないのであれば、課外授業などして学力低下問題に取り組んでほしい。週末、長期休業など今まで学校で過ごしていた時間をすべて家庭に任せるのは無責任だと思う。

いつでも相談できる体制が整うかがどうか不安

大会の出場や平日と休日の練習内容、指導の在り方

指導者を仕事として雇う体制ができないと、安定した人材確保が困難で、結局、教員に求めることになってしまう。

学校側が部活動が地域移行になったら知らないことが増えるのでは？

子どもがやりたいと言って頑張るのであれば、親は応援するのみ。やる気がある子が集まって、スポーツが振興していくに越したことはない。



活動場所

クラブチームに移行すると中学生からしたくても小学生からしている子達ばかりだと思うので入りにくいと思います。

かかる費用はもちろん、遠征に送迎する為に時間を取られてしまうと、親自身の予定が狂ってしまう事が想像されます。

親もそれぞれの考え方や家庭事情が違い、活動に毎回協力出来るところやそうではないところもあるはずです。

事情で参加出来なくてもそれに対しての批判も出るはずです。

費用がかかるのは、子供の為なので構いませんが、ある程度送迎に関しては、これまでと変わらず指導者側で対応して頂けることを切に願います。

練習回数をしっかり確保してほしい。5日/週希望。

クラブだと実力主義だから3年生が必ず試合に出られるわけではないと言われ、仕方ないが急に出られなくなるのは寂しい。クラブでは全国目指してチーム編成すればよいと思うが、中学校でも公式戦エントリーできる間は3年生主体で出させてほしい。

放課後ダラダラと過ごす子供が増えそう

部活動があるから、学校生活を頑張ることができる子もいると思う。全てを地域クラブ活動に移行するのではなく、学校での部活動は継続してもらいたい。学校の部活動を通じて学ぶことも多い。土日の勤務は先生方にとって負担なのかもしれない。でも、子ども達のための学校、その成長を支援するのが先生の仕事だということを忘れないで欲しい。

地域移行によって、指導者の競技に対する専門性が上がる一方で、子供たちへの対応やケアに対する不安が少しあります。教職員の先生方は、そのあたりの事について研修や勉強会などで学ばれる機会もあると思うのですが、地域の方は必ずしもそうではないと思います。指導に熱が入るあまり怒号がとんでいる様子も見られます。部活動を地域に移行した後も、子供達が学校の先生方に相談しやすいような環境づくりや、トラブルがあれば学校でも対応して下さるような連携をとっていただけると良いです。

送迎

地域の受け皿は民間なので、そこで教える側の人間性に不安な点があります。部活(活動内容のスポーツ)が好きだから教えるのと、子供が好き(教職員)だから教えるのとでは、違う様な感じがします。教職員資格の事もそうですが、子供に教えるプロ(教職員)と素人のおっさんくらいの差があるとおもうので、フォロー出来る様、子供に教える為の勉強会であったり、講習会等があると親の方たちも少しは安心感を与えられるのではと、感じます。

実際に学校部活動の練習日程がどう変わっていけるのかが気になります。

メジャーなスポーツの場合は選択肢もある程度あり、自分に合ったクラブに参加できるかもしれない。

クラブチームと部活チームで大会をしたときに差がかなりでると思う



地域移行になると、中学の学校単位の大会などはどう対応するのか

中学生からやり始めた子でも行って大丈夫なのか。上手くはないけれど友達と部活をするのが楽しいと言っています。今は地域のクラブは小学生からしていて上手で選ばれた子供が行っているのかな？と思っています。

学校側との連携が必要だと思います。

部活動で放課後毎日ダラダラ練習するくらいならクラブチームの練習時間を代わりに増やしてレベルに合わせたたくさんの指導者の下で練習してほしい

活動しているのに認知されていない状況

活動場所がなるべく近い方が望ましい

車で送迎が大変なため出来ることなら子供が自転車でいける距離が希望

地域のクラブチームに入る選手は小学校からそのスポーツをしている子が多く、中学からとりあえず部活なにか入らなきゃという気持ちで入部した子供とは熱量が違い、お金を払って参加するクラブチームに移行してくるのは難しいと思う。地域に移行するなら部活と同じように入りやすくしないと折角、大野で根付いてきたスポーツの人口を減らす原因となるのではないかと思います。各々スポーツ人口を増やせるような事も考えて移行して頂きたい。移行するスポーツは団体競技ばかりです。いくらクラブチームと言っても入ってくれる子がいなければ競技として成り立ちません。また、大野で子供たちが夢を持って取り組めるスポーツが減っていき、人口減少にも繋がります。民間に任せればいわと安易に考えず、大野に住むこれからの子供たちの選択肢を広げるためにももう少し考えて欲しいです。

休日に仕事が入ることもあり、送迎が難しくなる懸念があったり安全面の心配がある。時間帯や、使う道具に対しての負担等も不安である

今までは学校の部活と先生に任せている事が多かったのですが、これからは親の負担が多くなるのですか。例えばそのクラブチームでの役員や鍵当番など。

現在、地域スポーツクラブが存在していない部活で、さらに活動をしたい子の受け皿はどうなるか。任意加入になることで何もしたくない子供が増え、部活の衰退が進み、試合をする人数が集まらなくなってしまうのではないかと。

学校の部活と何が違うのか等、予め保護者にしっかり説明をしていただきたい。

指導者を確保出来るのか。また、部活の指導者と地域活動の指導者の指導内容に相違がないようにしてほしいです。

特にないです

同じく部員数の減少が顕著な吹奏楽部も、地域移行の流れなるのでしょうか。

顧問の先生には、限られた時間の中で大変熱心にご指導頂いており、感謝の気持ちで一杯です。



他にも兄弟がおり、送迎ができるかどうかわからない。
塾に通おうと思うとクラブチームのない日に通わざるおえないため行きたい塾に行けないかもしれないし、クラブチームのない日に塾に通えたとしても毎日の送迎で親側の負担が大きすぎると思います。
運動等の活動をさせてあげたいのにさせてあげられないご家庭が増えるのではないのでしょうか？

地域移行は良いと思うが、親の負担も大きくなると思う。

学校の部活動との連携(練習内容やレベル)や、親の送迎など

文化系の為いまいちピンとこない

特になし。

色々なことが不透明過ぎる

参加人数が少ない

部活の様子が分かるよう、開かれた部活動にしてほしい。

今までのクラブ活動を強制していた意味は何だったのか疑問に思う。

送迎や合同での活動となるので、課題はあると思います。しかし、部活動での選択肢や、大会出場に向けて努力するという中学生だからこそできる経験のチャンスを子供達に与えてあげて欲しいです。部活動地域移行でそれが叶えられるのであれば早く環境を作って欲しいです。

指導者の資質(怒鳴ったり...)

両親共土日祝仕事があることが多いので送迎は難しいので自転車でいけない距離は難しいです。

小学校からやっていないと、中学校からスポーツクラブには入りにくい。初めてでも入りやすい体制など整えてほしい。

地域移行にする事で、参加させたくても練習場所まで距離があると、送迎が必要になり、仕事なので送迎出来ないなどの点が気になる

現状、地域のクラブでは練習日が週2日だけなので、練習量を確保するために平日は学校の部活動を継続してほしい。

本来なら学校活動の一環で部活動を行ってほしい。顧問を請け負ってくれる先生にも前向きな先生もいると思うから。いきなり地域移行ではなく、部活動の加入方法を見直してみてもよかったんじゃないかと思う。たとえば、強制入部ではなく新1年生の時に「お試し入部」3ヶ月等の期間を持ち、期間終了時にその部に正式入部もしくは退部等の選択権を生徒に持たせてあげてほしい。生徒はもしかしたらその時に楽しさ、やりがいを見いだせるかもしれない。今回の地域以降、活動の在り方の見直しにはとても違和感しか感じません。



活動曜日、時間はどうなるのか
子どもを活動場所へ送迎できるか
中学生に対応した指導をしてもらえるのか

ありません

現在、大会や練習試合は現地集合なので乗り合わせて行けると良い思う。

とくにない

選択肢が少なすぎる。子供の可能性をつぶしている

ネットの世の中。ますますからだを動かさずネット社会になっていくと思います。

不適切な指導を監視する体制が取れるのかどうか
学校であれば、教頭校長が指導できるが、地域移行になると、それも難しいのでは.....

よく分からない

体育館の取り合いになるのではと心配です

これまで部活動だけ参加していた子どもたちが、スポーツクラブに馴染めず、または気後れして退部してしまい、成長期にスポーツをする機会を失ってしまったり、時間を持て余してゲーム三昧になってしまう可能性があることが懸念です。
皆が皆、既存のクラブに移行できるわけではないと思うので、そうして行き場をなくしてしまう子たちに何か救済策があればよいと思います。

学校での部活をする機会が少なくなると、活躍する場がどんどん減り、これからの子供たちは高校に入る際にスポーツ、文化選抜などの推薦を受けれる子供が少なくなってしまう。それに社会に出たら休日だろうが遅かろうが仕事をしなければならぬ時がある。休日だからと今から休ませていると社会に適応できなくなると思う。脱ゆとりと言いながらまたゆとり世代に戻すのはどうなのだろうか。

そのスポーツクラブの監督やコーチの指導方法と考え方

送迎などの親の負担。こどもの間での精神面のケアなど地域移行の場合の監督の考えなどする機会がほしい

本人の参加意思は大事にしたいが、ある程度の強制がないと、簡単に辞めてしまうと思う。

中体連の大会への参加が出来るのか

子どもが所属しているサッカークラブは、きちんとした指導で技術面だけではなく、目標に向かってチームメンバーと切磋琢磨しながら精神面なども鍛えて下さり感謝しているので、そういったクラブチームが増えていくといいです。す

スポ少でクラブ活動をしている子はクラブチームに入ってもスムーズに地域移行にいけると思うが、小学校の時に何もしていない子は、戸惑ってしまい馴染めないこともあると思うので、



多少学校の先生方と連携して下さると親も子も安心して活動できると思います。

先生の働き方改革については理解しています。

子供達が休日 地域の部活に参加しない場合、体力低下や練習量の減少が気になります。先生の休みの確保も大事だと思われませんが、子供達のやる気や体力も考えて頂きたいと思います。

質の高い指導者の確保

移行する事で更に運動能力の差が広がるのではないかと心配

一刻も早く平日の部活動も地域に完全移行し、技術の向上及び教員の多忙化解消に努めて欲しい。

有力選手になればなるほど妬みや陰口が出る

あくまでも子供達自身の気持ちを尊重し親としてできる範囲でサポートしてやりたいと思う

指導者の人間性の問題

親の当番が増える

特にありません。

帰りが遅い事

クラブでの大会参加を可能にさせる動きが、ざっくりし過ぎて今後が見通せない(わからない)。

部活が地域移行しても、部活と変わらない環境であってほしいです。

勉強との両立、部活程度の金銭的負担、送迎の負担など。

部活ならテスト前はないですし送迎も必要ありませんでした。地域のクラブチームに行くことで1番の負担は送迎と活動費です。

練習はテスト前でもあるし、塾の時間ともかぶります。その場合塾へ行ったら次の試合出してもらえないんじゃないかと子供は心配します。

送迎も本当に遠くて負担です。部活がなくなるから地域のクラブチームへ行ったけど、とても自分で行ける距離ではありません。

残業になった時は連れて行けません。

活動費もクラブチームは高いんじゃないかなと、来年度いくら請求くるんだろうと不安です。

各学校みんな地域移行していくのなら、中間ぐらいに練習会場をとって欲しいです。

子供にはのびのびと好きなことを楽しんでやってほしいので親は頑張りますが、子供も1人ではないし、身一つでは足りないのでもうまくやっていけるか不安です。

送信ボタンを押してください。
ありがとうございました。

アンケートは以上です。あ



Google フォーム





令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	鯖江市教育委員会 担当課：学校教育課 電話番号：0778-53-2253
------	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	3校	② 生徒数	2,072人	③ 部活動数	71部活（文化部含）
--------	----	-------	--------	--------	------------

1.2 地域における現状・課題

- 本市には3つの中学校があり、中央中学校や鯖江中学校は県内有数の大規模校である。部活動も盛んであり、運動部・文化部問わず、様々な種目で毎年全国大会に出場している。
- すべての中学校区に総合型地域スポーツクラブが活動しており、幼児から一般・高齢者の方々を対象にスポーツを通じて交流を深めている。
- 各クラブは、休日の中学校の部活動地域移行に関するマネジメント、学校とのコミュニケーション能力に差があり、指導者の不足や高齢化などの課題がある。

クラブ名	設立年	会員数	年間予算	活動内容
さばえ SC	2000年	約1,200名	約1,500万円	小中学生対象スクール、一般対象サークル、健康教室等
鯖江北 SC	2007年	約550名	約600万円	スクール、サークル、スポーツ少年団、健康教室
東陽 SC	2006年	約350名	約500万円	スクール、サークル、スポーツ少年団、健康教室

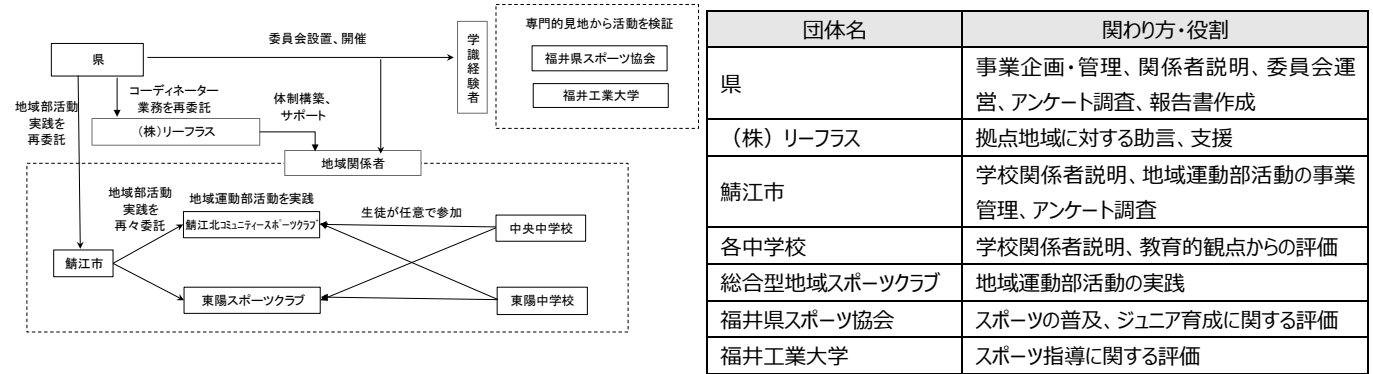
※3スポーツクラブ共通 年会費6,000円、保険料800円（中学生以下）

1.3 実践研究における取組目標

- 後述する「協議会」での基本方針・計画において、令和5年度から令和7年度までを学校部活動と地域クラブ活動の併存とし、地域移行できる種目から完全移行していく目標を設定した。

1.4 実践研究の運営体制

- モデル事業(実践研究)の運営体制と関係団体、役割は以下の通り。



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- 中学校における休日の地域クラブ活動への地域移行に向けた活動および完全実施での活動において、持続可能なスポーツ・文化活動とするため、課題に総合的に取り組み、進捗状況の把握や意見を集約し、鯖江市教育委員会・関係団体・学校に対して助言を行う協議会を設置した。
- 今年度は、20数年展開したさばえ SC の実践、令和3年度から実施したモデル事業、児童生徒・保護者アンケートをもとに、令和5年度以降の「基本方針」「推進計画」を協議会において決め、新年度から本格的なスタートが切れるようにした。
- 協議会委員のメンバーは、学識経験者・スポーツ関連団体・文化関連団体・PTA学校関係者での構成とした。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全3中学校のうち、3校が実践研究に参加 ※中央中学校、東陽中学校が国実践研究対象校、鯖江中学校は市単独予算で実践
② 実践研究に取り組んだ部活動数	11部活
③ 種目	柔道、剣道、陸上、バスケットボール、ホッケー、サッカー、バドミントン

《主な取組例（１）》…鯖江市立鯖江中学校

① 運営主体	NPO さばえスポーツクラブ		
② 種目	柔道・剣道・ホッケー・陸上・女子バスケットボール	④ 参加者数	149人
④ 活動日	土または日曜日(月4回程度)	⑤ 活動場所	鯖江中学校体育館・武道館 鯖江市陸上競技場
⑦ 指導者人数	14人 (うち兼職兼業9人)	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	さばえSCに所属の指導者5名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:6,000円/年額)		

《主な取組例（２）》…鯖江市立中央中学校

① 運営主体	鯖江北コミュニティスポーツクラブ		
② 種目	サッカー、男女バドミントン、剣道、女子バスケットボール	④ 参加者数	150人
④ 活動日	土または日曜日(月4回程度)	⑤ 活動場所	中央中学校体育館・武道館 神明健康スポーツセンター
⑦ 指導者人数	16人 (うち兼職兼業3人)	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	鯖江北SCに所属の指導者13名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:6,000円/年額)		

《主な取組例（３）》…鯖江市立東陽中学校

① 運営主体	東陽スポーツクラブ		
② 種目	男子バスケットボール 女子バスケットボール	④ 参加者数	25人
④ 活動日	土または日曜日(月4回程度)	⑤ 活動場所	東陽中学校体育館
⑦ 指導者人数	4人 (うち兼職兼業2人)	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	東陽SCに所属の指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:6,000円/年額)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

生徒	満足度(モデル事業参加者)	・「とても満足」が37%、「満足」が46%で、8割超が満足という結果が得られた。「満足」と回答した理由として、丁寧な指導による自身のレベルアップなどが挙げられた。一方で「不満足」と回答した理由として、チーム練習があまりできない、自分のやりたいことや勉強時間の確保に配慮してほしいなどが挙げられた。
	休日の地域クラブ活動への期待、参加意向	・休日活動したいと思っている生徒が約半数おり、専門的な技術を教えてほしい、レベルにあった指導をしてほしい、仲間と仲良く活動したいと活動内容に対して多様である。 ・休日に活動したくないと思っている生徒(21%)がおり、理由として別にやりたいことがある、ゆっくり休みたいと考えている。また、平日と指導者が変わることに不安を持っている生徒もいる。
	休日の活動時間	・2時間(31%)、半日(29%)が上位を占め、それ以上を求める意見もあった。
保護者	休日の地域クラブ活動への期待	・肯定的(小保93%・中保90%)であり、専門的な技術指導に期待(小保76%・中保75%)している。
	休日の地域クラブ活動への懸念点	・保護者の送迎に対して(小保63%・中保65%)、地域クラブへの費用負担(小保41%・中保37%)、地域クラブ運営への協力(小保33%・中保34%)が主な内容であった。
	休日の活動時間	・休日の活動時間としては、半日がよい(小保44%・中保56%)を占め、それぞれの目標に沿った活動で時間もそれぞれでよい(小保27%・中保21%)となった。
	費用負担	・0円との回答は3%となっており、受益者負担にはほとんどの保護者が理解を示している。金額設定においては、様々な意見はあるが3,000円が(31%)一番多い結果となった。
教師	休日の地域クラブ活動への負担の変化	・「減った」という回答が18人、「増えた」という回答が16人であった。 ・「減った」理由として、地域指導者との連携による出勤や指導時間の減少が挙げられた。一方で「増えた」理由として、地域指導者と保護者との仲介や学校施設管理のための出勤などが挙げられた。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

(指導者の確保)

- ・部活動の外部指導者(SC会員)や、クラブからの紹介で行ったが、なかなか決まらない種目もあった。原因としては、顧問が専

門家で、現状で良いのではといった考えがあることや指導者の質を求めることもあり、なかなか人選できないことなどがあった。

- ・ 鯖江市教委が間に入り、スポーツクラブが関係団体に依頼し、不足する種目指導者候補を紹介してもらい、人材選定をしているほか、地域にいる人材発掘を各スポーツクラブで随時取り組んでいる。
- ・ 指導者が決定してからは、令和 3 年度の課題であった、平日部活動と休日の活動の指導内容の乖離や顧問と地域指導者間で意思疎通がなかった等を解消するため、顧問と地域指導者との打合せの場を持つようにした。会議の中では、生徒（会員）が混乱せずにスポーツに親しむことが大切であること、学校と地域の連携の必要性、連携方法等を詳しく説明した。顧問からは、平日の指導に活用できるとの好意的な意見がある反面、手間が増えたとの意見が出た。地域指導者からは、様々な志向を持つ生徒（会員）への指導が難しいこと、参加した生徒（会員）が十分満足できる指導の難しさを聞くことができた。

(保護者への理解促進)

- ・ 令和 3 年度は、教育委員会が主体となり該当する保護者への説明等を行ったが、今年度は、各スポーツクラブが自立し学校と連携および様々な機会に説明するよう依頼した。年度当初は、保護者から会員になることに対し様々な意見があったが、その都度スポーツクラブからの説明し、理解を深めることができてきた。
- ・ 令和 5 年度中学校入学予定の保護者対象説明会には、各スポーツクラブが学校と連携し、保護者の前で説明をするまでに至った。
- ・ 周知に関しては、様々な媒体が必要であり、鯖江市だけでなく、各スポーツクラブや学校からも発信を依頼するとともに、根気強く続けることが大切であると考えている。特に、保護者の理解が重要であることから、対面での説明のノウハウについて 20 数年クラブ運営を行ってきたさばえ SC の例を参考に今後進める予定である。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ 課題は学校側（顧問）からの指摘がほとんどであり、内容の一部は部活動の地域移行に関する理解・認識不足によるものであった。また、各顧問により部活動に対する考え方も様々であり、「地域リーグに参加したいが休日移行になると自分が指導に付けられない、地域指導者と一緒に指導すると手間が増えるので顧問・副顧問で指導したい（兼職兼業届未提出）」に対し「休日の練習や練習試合は地域指導者と共に活動し充実している、有意義な活動になっていると同時に休日に自分の時間を作ることができている（兼職兼業届提出）」、「平日の活動に生徒が自分の指導についてきてくれないかもしれないとの理由で休日も練習に出ており苦痛である（兼職兼業届未提出）」に対し「休日は地域指導者に任せており、平日の指導にもいかにさせることができ、練習メニューを考える必要がなくなった（兼職兼業届未提出）」など様々であり、各スポーツクラブが学校との連携の難しさを感じ、指導に対してどのように進めてよいのか混乱する場面も見られた。
- ・ また、保護者や学校からの統一した意見としては、スポーツクラブの運営に対して、クラブによる対応の差があることなどの意見があり、今後クラブマネジメントの強化が必要であることが浮き彫りになった。
- ・ モデル事業の実践を通して、学校部活動の諸問題が地域・保護者に理解され始めたことは大きな一歩であった。また、保護者へのアンケート調査結果では、学校部活動を地域が担うことに対して、90%以上が賛成またはどちらかといえば賛成との回答であった。保護者は、活動方針や指導者の質などに不安がある一方、活動に理解を示し、期待している。運営主体となる各スポーツクラブは、実践研究を通して様々な情報や課題を共有し、中学校や関係者と協議し、解決策を導き出そうとしている。このような動きが出てきたことは、地域クラブ活動が持続可能な活動につながるものであると捉えている。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

(今後の対応)

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

協議会での基本方針・計画において、令和 5 年度から令和 7 年度までを学校部活動と地域クラブ活動の併存とし、地域移行できる種目から完全移行していくこととなった。3 年間で課題を解決する体制づくりを進めるには、休日の地域クラブ活動の鯖江市全体の流れを作ること、地域クラブのマネジメント強化を図ること、学校と地域クラブとの連携が不可欠である。鯖江市においては、令和 5 年度からは、市全体をまとめる総括コーディネーター、学校と地域の連携を推進する学校コーディネーターを配置して取り組む予定である。また、指導者確保を継続的に続け、質と量の確保を様々な団体に依頼しながら進める計画である。

【指導者の確保方策】

アンケート調査での保護者意見で、指導者の質の確保を求める声があった。指導者確保の最も重要な課題であることを各スポーツクラブは認識しており、指導者確保のハードルは高くなっている。多様化するニーズに対応するには、指導者の量の確保も必要である。関係団体や各 SC 関係者には依頼中であり、今後は活動を進めながら理解を深め、質と量の確保に取り組む予定である。

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	福井市教育委員会 担当課：保健給食課 電話番号：0776-20-5755
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	24校	② 生徒数	6,637人	③ 部活動数	193部活(運動部137,文化部56)
--------	-----	-------	--------	--------	---------------------

1.2 地域における現状・課題

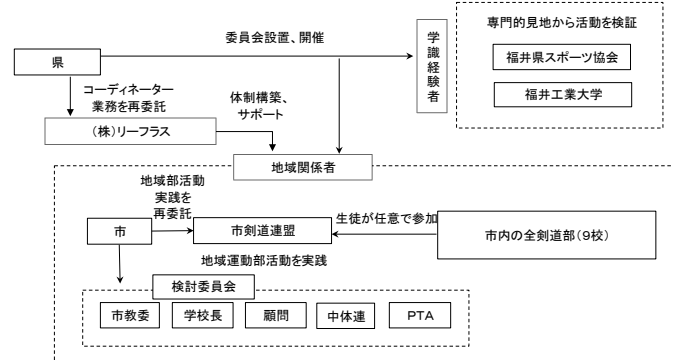
- 本市の中学校は生徒数が700名の大規模校から、6名の小規模校もあり、大小様々である。部活動は、任意加入としているが、多くの生徒が加入し活動している。
- 平成30年にスポーツ庁及び文化庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を公表したこと、平成31年2月に福井県教育委員会が「部活動の在り方に関する方針」を公表したことに伴い、本市においても平成31年3月に「福井市中学校における部活動の方針」を策定した。本方針では、部活動の意義・目的の共有、適切な運営のための体制整備として、活動時間、部活動数、1部活を複数教員で指導することなどを示している。
- また、技能の向上以外にも、生徒が参加しやすいよう、多様なニーズに応じた活動を行うことができるよう努めてきた。

1.3 実践研究における取組目標

- 市内の全剣道部9校の休日部活動を市剣道連盟に委託
- 指導者の確保
- 週1回程度の活動
- 参加費（保険料等）の徴収

1.4 実践研究の運営体制

- モデル事業(実践研究)の運営体制と関係団体、役割は以下の通り。



団体名	関わり方・役割
県	事業企画・管理、関係者説明、委員会運営、アンケート調査、報告書作成
(株)リーフラス	拠点地域に対する助言、支援
福井市	学校関係者説明、検討委員会運営、アンケート調査、課題の検討
中学校(9校)	学校関係者説明、教育的観点からの評価
市剣道連盟	地域運動部活動の実践・管理
福井県スポーツ協会	スポーツの普及、ジュニア育成に関する評価
福井工業大学	スポーツ指導に関する評価

2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- 今回のモデル事業を通じた研究評価を行い、見出された成果や課題をまとめるとともに、先行事例を参考にしながら、福井市における運動部活動の地域移行に関して方向性の検討を行うため「福井市地域運動部活動研究評価委員会」を設置した。

(福井市地域運動部活動研究評価委員会の構成)

回数	時期	審議事項
第1回	令和4年7月13日	① 福井市地域運動部活動推進モデル事業について ② モデル部活動の選定
第2回	令和4年11月5日	① モデル部活動の視察 ② モデル部活動の経過報告 ③ アンケート調査(案)の検討
第3回	令和5年2月10日	① アンケート調査結果報告 ② スポーツ団体意向調査結果報告 ③ モデル事業の報告と今後の方向性 ④ 地域運動部活動推進事業成果報告書(案)について

区分	所属	役職名
スポーツ団体関係者	福井地区中学校体育連盟	会長
スポーツ団体関係者	福井市スポーツ協会	理事(市スポーツ少年団本部長)
PTA関係者	福井市PTA連合会	会長
PTA関係者	福井市PTA連合会	顧問
学識経験者	福井大学教育学部	講師
教育行政関係者	福井市中学校校長会	副会長
教育行政関係者	福井県中学校教育研究会 福井ブロック保健体育部会	部会長

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全 24 中学校のうち、9 校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	9 部活
③ 種目	剣道

≪主な取組例≫…福井市内で剣道部のある中学校 9 校(明倫中、明道中、成和中、至民中、大東中、森田中、足羽第一中、藤島中、清水中)

① 運営主体	福井市剣道連盟		
② 種目	剣道	④ 参加者数	72 人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	福井県立武道館
⑦ 指導者人数	25 人	⑧ 謝金単価	1 人あたり 1,600 円/時間
⑨ 指導者属性	福井市剣道連盟に所属の指導者 25 名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収なし ※スポーツ保険料 800 円は徴収		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

生徒	活動日数	・ 現行の平日 4 日、休日 1 日の活動を希望する生徒が多かった。
	地域スポーツ活動への参加希望	・ 地域スポーツ活動に参加を希望する者は 4 割程度であり、わからない、希望しないと回答する生徒も相当数あった。地域スポーツとこれまでの学校部活動とのすみ分けやスタイルの違いについて、生徒の理解が浸透していないことも考えられる。 ・ 参加を希望する生徒は、技能向上を目指すことに意欲がある。またモデル事業にとっても満足し、今後も継続した活動を希望している。 ・ 不参加の理由は、送迎や時間といった物理的な理由が挙げられた。 ・ 学校での練習時間の減少に不満を持つ生徒や、学校の部活動を希望している生徒もいる。
保護者	活動日数	・ 平日 4 日、休日 1 日の現行の活動を希望する保護者が多かった。
	地域移行への期待、参加希望、意見要望	・ 地域移行に期待することとして、専門的な指導が受けられることが挙げられた。しかし、参加の希望者は、4 割に留まり、わからないとの回答もあり、まだ様子を見ている者が多いと伺えた。 ・ 意見では、専門的な指導が受けられる、他校との交流ができるなどのメリットが感じられる一方、送迎や費用等の保護者負担の増加やメンタル面のサポートなどに対する心配や不安を感じる回答であった。また、教員の働き方改革への理解や教員に対する配慮もみられた。
教師	地域移行への期待、意見要望	・ 専門的な技術向上や教員の時間外縮減を挙げている。完全移行に懸念のある中、見通しのない改革は不安であるとした意見も見られた。 ・ 平日、休日と指導者が変わることでの情報共有は可能なのか、生徒の家庭環境や競技により、活動や地域移行に差が出てくるのではないかと等、様々な課題や不安を感じる回答であった。
指導者	参加意向	・ 今後も地域スポーツクラブの指導者として参加したい指導者がほとんどであり、これまでの経験を活かして生徒の成長に役立ちたい、剣道競技人口の維持向上に努めたい、地域スポーツ促進に貢献したい等、地域の受け入れ団体としての意欲が伺えた。
	実施頻度	・ 多くが週 1 日希望であった。
	指導者報酬	・ 現状の 1,600 円、1,600 円より高い、安いとばらつきが見られた。
	その他意見	・ 地域移行には、指導者研修が必要であるとの意見も多く、学校との連携や指導者としての質の確保が課題として挙げられた。 ・ その他、部活動と地域活動では目的が違いため、共存しながら生徒の成長を支えられたら良い、多くの生徒が参加できるよう 3 カ所程の活動拠点を設け、指導者を派遣することもできそうであると前向きな意見も見られた。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・家庭、学校の地域スポーツクラブ活動への移行に対する理解促進
- ・休日の地域スポーツクラブ活動に参加できない生徒に対する活動の担保
- ・地域スポーツクラブ活動の会場への送迎
- ・参加者費用負担に対する保護者への理解促進

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ 剣道部をモデルに、地域移行の一形態について、その成果と課題の洗い出しができた。
- ・ 参加した生徒からは、専門的指導を受けることができた事や、他校生徒との交流ができた事で満足したとの結果が得られた。
- ・ 受け入れ先となる指導者からも、地域貢献や後進の育成に意欲が伺えた。
- ・ メディア等を通して、部活動地域移行について市民に情報発信ができた。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

地域移行を推進するため、地域スポーツ団体や学校との連絡調整、指導者の派遣管理等を行う総括コーディネーターを教育委員会に配置する。

【受け皿団体の確保方策】

- ・ 今後は、受け入れ可能とするために必要な環境整備を検討していくとともに、市スポーツ協会加入団体以外の民間のスポーツクラブや地域総合型スポーツクラブ等、受け入れ可能なクラブや団体等を模索していくことも必要。

【地域特有の課題への対応策】

今回のモデル事業のような活動施設に参加者と指導者が集合する形態以外に、複数の学校をグループ化し拠点の学校等において行う形態、対象の学校等に指導者を派遣する形態での実施、個人競技だけでなくチームスポーツも含めた新たなモデル事業について模索し、研究を重ねていく。